

問 あなた(ご本人)＜あなたやお子様＞が、周りの人から助けてもらったり、してもらってうれしかったことがあれば記入してください。

<障害者調査 問45>

内容	件数
・特になし。	(52件)
・バスや電車などで席を譲ってもらったこと。	(22件)
・話を聞いてくれたこと。	(6件)
・わからない。	(3件)
・ヘルプマークを見て席を譲ってくれたこと。	(3件)
・助けってもらったことはない。	(2件)
・声掛け。	(2件)
・都営の乗り物が無料で乗車できること。	(2件)
・バスのイスを譲ってくれた。階段で転んで、救急車に電話してくれた。	
・バスの座席を譲ってくれた。しかし、新型バスの優先座席は減った。	
・特にないが、困っている時は中には、親切な人がいる。	
・特にないです。障害を知られたくないので誰にも言っていない。	
・特になし。今まで自分で解決してきた。	
・(親から)声をかけてくださっても心よく返事をしたりする事がなかなか難しく黙っている事が多いけれどそれを受け止めてくださり暖かく見守り、声かけして下さる事に有りがたいです。	
・「うつ病は、どんな人でもなり得る病気」「心に強い・弱いはない」など、病気を理解してもらえることが一番嬉しかったです。	
・1人では歩けないので、手をそえて一緒に歩いたり、声をかけてくれること。	
・いつも周りの人から気配りを頂いております。	
・たくさんあります。タクシーで帰り支払いの時、がんばってねと無料にしてくださいました。	
・パニックで大騒ぎしていた時、ぜんぜん大丈夫ですよ、と声をかけてくれた。	
・バスの中で座席を譲ってもらった時。	
・手話でありがとうと言われた時。	
・耳が聞こえないと伝えた際に、すぐ筆談して下さった時。	
・ヘルプマークをつけていて乗り物(バス)で席を譲ってもらえた・家族が家事を手伝ってくれる。	
・家庭内では家事をしてみよう。	
・外では歩く時手を貸してみよう。	
・外では荷物を持ってみよう。	
・坂道や、車の乗り降りの車イスの手助け。	
・地域活動支援センターとの交流。	

- ・通院や検査の時、会社を休ませてもらえる。
- ・仕事で残業をしなくていいと言われる時。
- ・仕事の配分をゆめめに設定してもらっている。
- ・技量以上の事を求めてこなくなっている(家事等)。
- ・施設やお店で電気の明るさを調節してもらった・外出に同行してもらった(家族に)。
- ・区役所の方に必要書類を家まで送付していただけた。
- ・職場では、上司やグループメンバー含め、部全体が障がいを理解し積極的なコミュニケーションを取ってくださることが本当に嬉しくありがたい(上司については、複数人でのミーティングでは必ず冒頭で口元を見せてゆっくり発言するよう伝えてくれる)。
- ・買い物等で店員さんが話しかけてくれる際も、耳が聴こえないことを伝えればジェスチャーや文字に起こしてコミュニケーションを取ってくれること。
- ・精神的に余裕がないときに、家族に家事(お皿洗い、料理、洗濯、掃除など)をやってもらおうとき。
- ・家族が疾患や自分の特性について理解してくれていて、無理やりアドバイスや強制して何かをやらせようとしなくていてくれること。
- ・電車バスで席をゆずっていただいた事(ヘルプマークをつけていてもめったに譲ってもらえません)。
- ・スーパーでレジかごを運んでももらった時。
- ・電子マネー化は左マヒがあるためとてもありがたいです。お金の出し入れをせずにすむ。
- ・電車やバスで席を譲ってくれる人もいる(知らんぷりも多いが)。。
- ・階段を下りるとき荷物をもってくれた。
- ・買い物かごをレジの人が運んでくれた。
- ・都バスなどの席の譲りあい。
- ・横断歩道、駅の階段などでの誘導。
- ・倒れてしまった時に、すぐに保健室に運んでもらい、落ち着くまでいさせてもらえたこと。
- ・道でパニックになった時、心配して声をかけてくれ、飲みものを買ってくれた方がいました。
- ・スーパーでてんかん発作をおこした時、見知らぬ方が数名で協力してくれました。
- ・道を聞いた時にほとんどの人は親切に教えてくれるので嬉しい。
- ・病院の先生から、福祉サービスの情報を提供してもらっています。
- ・障害者年金の申請をする時に、窓口の方が書類を見てくださる時とても親切でした。
- ・交通機関はパニックになってしまうため利用できませんが、都の交通機関が無

料で利用できるのはありがたいです。

- ・不安定だった時電車の中で、回りの人がそれとなく受け入れてくれたこと。
- ・見知らぬ人に話しかけてしまった時、返事してくれたこと、話を聞いてくれたこと。
- ・描いた絵を褒められたこと。
- ・3.11の震災の時にエレベーターが止まってしまった時、4階の自宅までだっこして家に連れてきてもらった事。
- ・1人では生きていけない。援助があって今の生活ができています。障害があるとまわりに伝えていません。伝えるのもこわいです。特別障害があるからしてもらってうれしいとかではなく、日頃から、たくさんの人たちに支えられて生きられてることに感謝しています。
- ・3年前に、障害者になり、現在もリハビリ中です。大学の通学支援制度を利用しました。朝早くから、同行していただき感謝しております。
- ・4月から通所施設と同じ福祉会の運営するグループホームに入所でき、親元から自立して生活をはじめたこと。
- ・52才で障害者雇用清掃員として大手で採用。60才定年を越えて71才4カ月でリタイア後もカレンダー配付。80才になったので認知症になる前に配付停止申し入れると、会社を思い出してね忘れないでねと送ったのは、涙がでるほどうれしかった。
- ・9回消防自動車にお世話になった。そのつとどなたかお世話になっている。社会がいいからだと思います。
- ・DVで実家を出る時、近所の方々が色々と助けてくれた。今は引っ越してきたので、周りとの交流がほとんどない。
- ・あいさつしてくれると嬉しい。
- ・一緒に在留カード申請しに行くことがうれしいです。
- ・いつも通りの家族の対応。いつも通りの医師の対応。
- ・エレベーターの乗り降りの時にタクシー乗り降り時車いすを運んでくれる。パーキンソン病になり仕事を廃業し整理して生活保護世帯となった時アパートに住める様に協力してくださりました。
- ・エレベーターを乗り降りする時に扉を開けて、待っていてくれる。
- ・エンジョイクラブ楽しいです。
- ・同じ質問に何度も答えてくれた時。
- ・お金くれたとき、物質支援、おごってくれたとき。
- ・お買物に一緒に行って頂いたり、食事を作っていたいたり、とても感謝しています。
- ・カウンセラーの方に、私が努力していること、ただ疲れやすいのではなく、こういう部分にエネルギーを使っているから私が過ごした1日で疲れるのは当然のことである。というように、自分のしていたことが無駄ではないと教えてもら

い、肯定してもらえたこと。

- ・クリニックで、人の少ない別室で、待たせてくれた。
- ・ごくまれにヘルプマークを見てバス、地下鉄で席を譲ってくれる方がいました。たいていは自分優先席だと思っているようで悲しくなります。
- ・ゴミの出し入れをしてもらっている。
- ・転んだ時、立ち上がるのを助けてもらった事。ごみ捨ての時エレベーター1Fで会った人がよく出してくれる事(階段があるので)。
- ・転んで起きられない時男の人とおまわりさん2人で起こしてもらい感謝しました。
- ・コンビニストアで転倒した時、大人の人と中学生が立ちあがらせてくれた事。
- ・ご近所の方に助けを求め、救急車の手配等をしてくださいました。若いご夫婦ですが、ご近所とのつながりを日々大切にすることを学びました。
- ・スーパー等でスタッフによる、買物の手伝いなど(毎回助けてもらっています)。
- ・ストーマ保有事実の理解を得たこと。
- ・スポーツジムの風呂で助けてもらった。
- ・タクシーとめてくれた。
- ・タクシーに乗る時、支えてくれた。
- ・電車に乗る際、車椅子を母と一緒に持ち上げてくれた。
- ・タクシー無料券を使用の時感謝。
- ・団地の掃除で、周りの人から、仕事をさせてもらってうれしかったです。
- ・旦那さんに私が行きたいところに連れて行ってもらっている。
- ・デイケア。
- ・デイケアに通っていた時は、同じ障害の人からこんなサービスがあるよとか、情報を教えてもらえたこと。
- ・デイサービス、ショートステイで面倒を見てもらい感謝している。
- ・デイサービスで入浴できて良かった。
- ・デイサービスに行き入浴など。
- ・デイサービスでいつも周りの人に助けてもらっています。入浴、トイレなど。
- ・トイレ待ちで順番を優先していただいた事に感謝。
- ・どのような症状なのかを知り合った方に聞いてもらうだけでも嬉しいです。
- ・ない。集団でいれば助けてもらえるが、1人では助けてもらえない。
- ・初めて昨年からサービスの利用を始めました。職員だからかは分かりませんが、しっかりと個人を見てくれるので、安心して相談ができたこと、なんでも相談して良いと言ってくれたことが、嬉しかったことです。
- ・バスの席を譲ってくれた。雨の日、外出しない。タクシーを利用する。信号渡る時、言葉とか手を貸してくれた。
- ・バスやスポーツセンターで無料になると思わなかったのでうれしかった。見た

目が障害者だと見られないので助けてもらったことはありません。まだ手帳をとって1年なのでこれからだと思います。

- ・バスや電車で席を譲ってもらったこと。雨や雪の日に助けてもらったこと。
- ・バス乗車のとき発作で倒れた際に周りの人に助けてもらいました。
- ・パンを買いに行ってもらったりゴミ出しをしてもらったこと。
- ・プールから上がる(プールサイドへ)のが介助者一人では大変だった時に見知らぬ方が「お手伝いしましょうか」と脇を抱えて安全に車イスに座らせることを手伝ってもらえてうれしかった。
- ・ベランダから落ちそうになった時、歩いている人に電話して、親に来てもらった事。
- ・ヘルパーさんが親身になって助けてくれる。外出など、障害を理解してくれて助けてほしい事が言えないので進んでやってくれるのが嬉しい。
- ・ヘルパーさんに作業所への送迎をしてもらっている。
- ・ヘルプマークを見てバスの席を譲っていただいた時。身体障害ではないのですが、精神疾患でも体に症状がでることがあります。
- ・ヘルプマークを付けていたら電車・バス内で席を譲ってもらった。それだけマークの意味が世の中に浸透してきていると思った。内部障害者は外見ではわからないので助かります。
- ・ヘルプマーク着用で、(その時点で必要では無かったが)声を掛けてもらったり、視線やジェスチャーで気をつかってもらった事がうれしかった。
- ・ホームヘルパーさんが相談にのってくれる。
- ・ほとんど助け不要。
- ・まれにトラブルに巻き込まれたりして、助けてくれたり自然に声をかけてきてくれた人がいたのが嬉しかったです。
- ・道を教えてくれたり物をとってくれたりするところです。
- ・やさしくしてくれる事。
- ・よく転ぶので助けてもらった。とてもうれしかった。
- ・リハビリ病院で体操して助けてくれている。
- ・わかりやすく説明、どんな質問でも馬鹿にしたような態度をとらずに答えてくれたこと。
- ・1人で歩いていて声をかけてもらったときや、電車やバスで席を譲ってもらったとき。
- ・一度だけヘルプマークに気づいていただいたことがあります。混んでいるバスの中で、小さなお子さんを持つお母さんでしたが、空いた席を示してくださり「座ってください」とお声をかけていただきました。
- ・一般タクシーの順番待ちで、とても暑い日で事故か何かでなかなかタクシーが来なかった時、一人の女性が、先に乗って帰るよう順番を代わってくださったことがあり、とても感謝しました(お子さんがかわいそうだから…と優しいお言

葉もかけてくださり涙が出ました)。

- ・駅で荷物を階段下まで持ちましょうかと声をかけてもらい運んでくれたこと。
- ・駅員の方の誘導。
- ・家からあまり出ないので特にありません。他人と接することが出来る様になりたいです。
- ・介護ヘルパーさんの生活支援と話し相手。家族の生活支援と話し相手。
- ・家族の支援以外では、バスの中で席を譲っていただいたりする事があるので有難いと思っています。
- ・家の事を相談にのっていただけていた時、とても助かり安心しました。今、またなかなか相談出来る場所、人に恵まれず心が重いです。11月にひとつ相談しに行く予定です。
- ・家族に障害者手帳の事を教えてもらい、手続きを助けてもらったこと。
- ・家族の支えで感謝しています。友人、知人も感謝しています。
- ・会社で大事な物をなくした時に一緒に探してくれたり、届けてくれました。
- ・会社の健康診断の時ひとりで行けない、その時会社の人と一緒に連れてくんだり、送ってくれたりしてくれたことに感謝した。
- ・会社の上司から叩かれたり怒鳴られたりして困っていた時、学校の先生と支援員の方が会社に言ってくれた。
- ・会話にジェスチャーを入れてくれる。マスクを外して口元を見せてくれる。
- ・周りはすべて高齢者(80才以上)なので頼まない。何か有っても我慢します。
- ・皆さんが声をかけて下さり、サポートされる事がうれしいです。
- ・階段の登り降りの時手助けしてもらった時。
- ・外で会った時に歩行介助してくれたり、出来ない事があり「困っていた時はいつでも言ってください」と言ってくれた時と、実際にお願ひしたら良いですよとやってくれて、またいつでも言ってくださいと言ってくれた事。
- ・外で道案内されたり、席を譲ってもらってうれしかった。
- ・外で立てなくて困っていたら助けてくれた。外で転んだ時助けてもらった3回ほど。
- ・外見上全くわからないので助けを受けたことはない。
- ・外出時、出来ないこと、コケそうになった時等、いつも周りの方々が手を差し伸べてくれる、ありがたい。
- ・外出先で階段を使うことが多いのですが、荷物が多い時には、助けが必要か声をかけてくださる方がよくいらして、とてもありがたいです。
- ・外出先で体調を崩していた時、近くの保育園の方に家まで送って頂きました
- ・学校を卒業しても、支援学校のクラブ活動にOBとして参加できること。余暇を過ごす場環境があること。好きなことを教えてくれる支援者が身近にいること。支援学校が地域に定着していること。
- ・気づいていない時にすぐに声をかけてくださった時が一番ありがたかったで

す。

- ・気づかみや温かい言葉です。
- ・麻痺としびれでつまずき、転倒した際、近所の方に気遣っていただき自宅迄送ってくださったが、それ以上動けず、すぐ救急車の手配をしてくださったご夫婦に感謝しています。今はそういう方は少なくなったと思います。
- ・共感してもらえたこと(困っている時に)。
- ・近所で朝はおはよう、いってらっしゃい、帰るとおかえり今日も元気だねと普通に声かけをしてもらいました。
- ・近所の人に声をかけてもらえたこと。
- ・近隣住民から、必要ならゴミ出しでも何でもしますよ、と声をかけてもらったこと。
- ・区役所に手続きに行ったときに、丁寧にゆっくりとお話していただき、安心しました。ありがとうございます。
- ・区役所の支援課の方が親身に相談にのっていただき、色々手配してくださったこと。社協の方がハンディキャブを運転し外出を支援してくれた時、とても親切にしてくださったこと。
- ・具体的には書けませんが、周囲の方々からあたたかく見守っていただいています。
- ・健常の兄の幼稚園の催しに未就学児として参加。皆にあたたかい応援をもらいました。公園で遊んでも分けへだてなく遊んでくれる。
- ・見た目障害者に見えないので気づかれない。
- ・玄関ドアのカギが開かなかった時となり隣の住人が助けてくれたこと。
- ・現在就労支援所に通っているが、相談支援員がついて相談にのってくれる事。話をきいてくれる人がいてくれる事。
- ・呼吸障害を持つ者です。路端で休んでいると、通りがかりの人が、大丈夫？とひとこと声を掛けて暖かい行為がとても嬉しかった。私も困っている人を見たらひとこと声をかけてあげるようにしています。
- ・股関節の手術を受けています。(人工関節)、走ったり、運動は一生しないように言われました。一見わかりませんが、気を付けて生活をしています。術後はステッキを使った時もありましたが、病気に関係なく転んだりすると「大丈夫ですか」と声を掛けてくれる人は、結構多いと思います。ありがたいと思いました。
- ・公共交通での、他の乗客どうしの気配りが昔より向上した。
- ・公共交通機関で席をお譲りいただくことがあります。通院時等で体調が悪い時は特にありがたく思います。主人が病気について理解が深く、いつも助けてもらっています。外出時はどこへでもついてきてくれ、段差があるとすぐに手をかしてくれます。
- ・公共交通機関で席を譲ってもらう、疲れやすいので本当に助かります。
- ・江東区のお世話をいただいて、契約社員として働いています。上司の方、一緒

に仕事をしている方々皆さん障害を理解してくださって親切に対応してもらっています。本当にありがたい事だと思っています。本人は私達家族が思っているほどには、大変貴重な体験だと解ってはいないかもしれません(兄)。

- ・行動が車イスのため買い物(スーパー)などがきつい。御近所からおかずの差し入れがあるとありがたい、感謝している。
- ・降雪の翌日朝に転倒してしまったが、周りの人が集まって介助してもらいました。
- ・骨折したときに、通りがかりの方に助けていただいたこと。
- ・今、休職中で、就労支援を受けた時、正論を並べて怒られましたが、自分を振り返る良い機会だったと思っています。このことで落ち込んだことはありましたが、訪問看護師さんにも、「落ち込む所ではないよ！！頑張ろうって思う所だよ！！」と励ましていただき、今、また、復職に向けてデイケアでリハビリ中です。
- ・今のとこと周りの人から助けてもらっていない。今後の事でその時は助けてもらいたい。
- ・今ヘルパーさんが来てくれている。お医者さんが見てくださる。週一回お風呂に入れてくださいます。
- ・いま自分はA型作業所で働いているのですが、こうした障害者に対しての居場所があるということは、大変ありがたいと思っております。
- ・妻も身障者なので苦勞する。
- ・作業所に長く通所させていただき、毎日元気に過ごすことができ、とても感謝している。
- ・作業所に電話して助けてもらったこと。
- ・仕事出来るように楽しみです。
- ・仕事の同僚が常に体のことを気にかけてくれていて、無理させないようにしてくれていること。
- ・仕事への配慮をしてもらった。
- ・仕事先で左ききのハサミを用意してくれた事。
- ・仕事中に、上司(上長)から、ありがとうと言われた事。
- ・施設への入場料が半額になった。交通手段の割引。→経済的援助がうれしいです。小学・中学と特別クラスに通っていましたが、クラスの仲間として受け入れてもらっていたようで、楽しそうでした。
- ・私が、現在通所中の(就労継続支援B型事業所)の職員の方の対応と、私が行っている(理髪店)床屋さんの店員さんが、私達が持っている(障がい)に理解してくださる良き理解者です。大変、感謝しております。
- ・私に精神障害がある事を知った友人が、以前と変わらず、ご飯を一緒に食べに行ってくれたり、優しく接してくれる事。主人が、いつも一緒に居てくれる事。
- ・私の事など知らないと思うし、まわりの住人も新しく変わってきているし、マンシ



ヨンの人とは全く話す事もないし、近所でさえ昔から知っている、ごくわずかな人しか話す人もいない。

- ・私の障害は心臓病により、弁の取替えなので内部障害につき外見より全く分かりません。それで何かしてもらったり、助けてもらったことは全くありません。
- ・私はろう者なので周りの人が筆談してくださることがとても助かりうれしいです。筆談は手間がかかるのでそれをしてくださる方は親切でうれしく思います。
- ・私は子どもが好きなので、保育のお仕事を現在もさせていただいていることに感謝をしたい。子どもから元気をもらっている。障害者だけど、結婚して子どもを産めて子育てしたい。
- ・私は足が多少不自由ですが階段などで困っている時特に若い人などが運んで(カート)くれたりしてくれて助かり日本もすてたものではないと特に感じたり致します。
- ・私は難病であるが、症状が重くないので生活に困っていないので特に助けてもらっていない。症状に応じて自分から休んだりして生活内容をコントロールしている。
- ・視覚障害者ですが街中で迷っている時に手を貸してもらっている事がうれしい。
- ・時々、安否確認の声かけあり。知人より、買い物の代行等。
- ・私は混合性結合組織病で手指が思うよう動かなくなったため、自ら難病でできないことをしっかり伝えることで、できないことを相手が進んでやってくれたときうれしいと思う。
- ・自身の精神障害の程度では自ら告白しないと認識してもらえないレベルなので恐らく周りからは障害者と思われていないと思う。
- ・自動ドアでない所でドアを開けてもらったこと。
- ・自分が今どこにいるか分からなくなった時に声をかけてもらった時助かりました。
- ・自分の障害のことをよく理解してくれて、いろいろな仕事や、生活面、人づきあいに対しアドバイスしてくれた事。
- ・自分の障害程度(4級)では、他人には気付かれにくいので、この件で助けてもらったことはありません。
- ・自閉スペクトラム症で、なにをしていいかわかりづらい、ひとりで残されると不安が強くなり気疲れしてしまう。が、そのときに的確にお声かけしていただいたり、アドバイス、次の仕事の指示を与えてくださったりすることは安心につながり、励まされたことがあります。
- ・失語症者が集う友の会に参加した際、となりで意思疎通の支援を、丁寧に分かりやすく、かつ親切に対応してくれた時はとても助かったし、うれしかった。
- ・実感が湧かないので分かりません。

- ・社協とつながれたこと(人が紹介してくれた)。
- ・車イスでの外出時、ヘルパーさんといっしょでしたが、都バスを待っている時など、前に並んでいる方が気をつけてくれて親切な方だと思った事がありました。
- ・車イスで移動している時、知らない人から声をかけてもらいうれしかった。
- ・車イスで走行中、段差部分での手助けを受けた。
- ・車イスに乗っていて道を譲ってもらった。
- ・車イスを押して坂道を上る時、近くの小学校の女子生徒が、押して手伝ってくれた。
- ・車イスを手助けしてくれたこと。
- ・車椅子を坂道で押しにくださったり、段差でお手伝いしてもらったことは、ありがたかったです。
- ・主人やお医者さんが相談にのってくれる。
- ・手が不自由なので重たいものを持ってくれたり手伝ってくれた時。ペットボトルのキャップを開けてくれた時。
- ・手足の障害に気付いても目を見て話してくれる人。客商売をしてもそういう事が出来ない人もいます。
- ・受給者証の手続き。
- ・寿命で心律不整、狭心症、心筋梗塞になってしまう。障害者になってからとくに昨年(R. 3~R. 4)数回も心不全にて救急車要請病院へ搬送。死に至るところ命を取り戻し、妻に、先生、看護師の看護で感謝しています。または親友の励み言葉もうれしかったです。
- ・周りの人がいろいろ情報教えてもらった。嬉しかったです。
- ・宗教の集まりの方々がよく訪問して下さるのだが、こちらに入信の意志がない事はご存知と思うが、同じメンバーで良く来て下さるのは、こちらが1人暮らしの老人なので見守りの意味もあるのかとも思います。
- ・就労移行支援センターにて、担当者の方が就労後も定着支援で助けて下さる事。
- ・就労移行支援事業所で、就労支援してもらった。
- ・就労支援センターで訓練を受け、訓練生や支援員の方と知り合うことが出来たこと。
- ・重い荷物を持ってくれた、下に落ちた物を代わりに取ってくれた。
- ・助けてもらう感覚はない。自分から、当たり前コミュニケーション方法を示している。その方が、相手はどう行動するかわかる。相手が気づき、自ら筆談してくださったりすると、うれしい。
- ・商店街の買物で、多少ルール(並ぶ、順番)にうとくても、店の人が誘導して対応してくれること。
- ・障がい者ではなく、一般の一人の人間としてみられたこと。

- ・障害がわかりにくいいため、ないです。
- ・障害を理解してくれる友人がいる。
- ・障害者である自分が悲しい。
- ・障害者センターでは毎日目をかけてもらっていただいています。ウォーキング、体操をしたりする。
- ・障害者になった時理解してくれる人が増えてきた事です。
- ・障害者になりまして、日常の買物や、洗濯物を干すことが出来なくなりました。知人や近くに住む人に、手伝って助けていただき、有難い思いです。身体が動かない時は、一人ではなにも出来ません。買物だけでも助けていただければ、生きていけます。ヘルパーさんを頼んでも、週一度では少ないですし、生活は出来ません。少し考えていただきたいです。
- ・障害者に対して一般の人の理解。
- ・障害者雇用で会社に入社したので、みなさん親切なので仕事は楽しいです。
- ・障害者手帳があるからと、家族から無理矢理外出、外泊に連れだされている。障害者をなんだと思っているのか。
- ・障害者年金や自立支援制度について知らなかった時に区役所の方に教えて頂き、それから経済面が楽になり治療に専念できたので助かりました。嬉しかった。
- ・乗り物で席を譲ってくれた。友人が荷物を持ってくれた。
- ・城東保健所毎週(金)9:30~11:00の間生活教室が楽しいです。皆様がやさしく、親切です。
- ・杖をついておりますが電車、バスでは席を譲って下さいます。エレベーターで降りる時「お先にどうぞ」と気使ってくださいの方々が多くて感謝しています。
- ・杖をついてゴミ等捨てに行きますが途中から集まってきた方が持ってくれた事が多々ある。感謝。
- ・杖を使用している為、周りの人が気をつかってくれる。
- ・杖を持ってヘルプマークをつけていることでバス、電車等席を譲っていただくことが多くなりました。
- ・職場では定期的にマンツーマンで面談が行われている為、相談できる環境が整っていることに関してはとてもうれしい。聴覚障がい者と接し方に慣れている人に会った時はとても安心する。
- ・職場について外部の機関に相談にのってもらえること。
- ・信号のある横断歩道で、足がすくんでしまい3回、助けていただきました。1人の方はとても若い人でした。
- ・信号の段差が車イスでこえられず、子ども連れの方々が助けてくれたこと。誰もが、やってくれるような国になるといいですね。
- ・心身障害者福祉手当を支給してもらっており、大変助かっています。
- ・心療内科の先生が気持ちを聞いて、無理しなくてよいと言ってくれること。

- ・深川スポーツセンターでのコロナワクチン接種の時(2回目の時)受付で、聞こえの悪い人等の選択があり、申し出る事が楽でしたし嬉しかったです。(3回目の時はなかったので、受付で、聞いてもらえると助かります。こちらから説明するのは少し大変なので)。
- ・親にすら助けてもらっていないのでとてもつらい。
- ・正社員として新卒から同じ会社に勤めているが、精神障害と診断された後でも担当業務を私の特性に応じて決めて、上司から配慮がされていることが、最も助かっています。
- ・精神障害、自立支援を受けていることを周囲の人に言っていない。
- ・精神障害者3級です。3年以上抑うつ状態でやっと最近になり一人で近所への買い物くらいであれば外出できるようになってきました。この間常にどういう状況か気にかけてくれる友人がいて『焦らずゆっくり治していけばいいんだよ』という言葉にどれだけ助けられたか。社会とつながっているという思いを持たせてくれる数少ない友人です。
- ・精神障害者であることを隠しているので周りの人から助けをもらうことは無い。
- ・精神的にぐったりして顔色も青くなっている時に何の理由も聞かないで「とりあえず休もうか」と言ってくれたこと。
- ・声かけしていただき、本人は、笑顔で返しました。
- ・声をかけてくれること(挨拶など) エレベーターのボタン(開く)を押して待っていてくれたりする。
- ・赤信号に気がつかなくて歩き出そうとして引き止めてくれた(目の障害があるため)。
- ・先日、携帯ショップに行ったときに、店員さんがヘルプマークに気づいてくださり、ハーティー割をすぐに対応して下さいました。翌日には適応され、基本料と掛け放題料が割引かれていました。ヘルプマークは、認知度がかなり低い中、気が付いてくださったのは、本当にうれしかったです。
- ・相談を聞いてもらった。理解を示してもらった。金銭的に支援。
- ・相談員さんが各所へ連絡してくれ各種サービスへつなげてくれたことはありがたかった。
- ・息子に力仕事を手伝ってもらおう。
- ・体や心が疲れた時、家族の気づかいが嬉しかった。
- ・体調が悪い時、電車で席を譲ってもらった時(病院に行く際)。
- ・体調が良くなかった時に電車で病院に行った電車の中、混んでいた時に声をかけていただき、座れた時はよかった。
- ・体調大丈夫?の一言が、父からあった時嬉しくなります。父に肩もみしてもらおうと安心します。外では、道を歩いていて、ぶつかりそうになると、向こうからすみませんの一言が嬉しかったりします。地域生活支援センターは、まだ慣れてい

ないですが、帰り際に、利用者さんから「おつかれさまです」の温かい一言が自信につながります。

- ・団地の知人と交流していますので、困ったときに色々と相談している。
- ・段差のあるところを(車椅子)助けてもらった。自動ドア(エレベーター等)を閉まらないように手助けしてもらった。挨拶を返してもらった時(知らない人)。
- ・地下鉄に乗っているとき席を譲ってもらったこと。
- ・地震があった時に、近所の人が助けてくれてうれしかったです。
- ・地震の際に声をかけていただいたことが、うれしかった(安否確認)。
- ・中学生くらいの子供が雨で大変そうに思ったらしく荷物を持ってくれた。小さな子でも思いやりのある子がいると嬉しかった。
- ・町内の草むしりの時にしゃがむ事が出来ない為に皆さんが草をゴミ袋に入れる作業にしてください、とても嬉しかった事です！！両方の股関節が悪く左側にボルトが入っているので座る事が出来ないのです。
- ・聴力低下のため、名前を呼ばれても聞きとれない。合図等で、順番が来たことを教えてもらったとき。
- ・長寿サポートセンター、透析病院の皆様にもいつも助けてもらっている。
- ・通所途中で、都バスを間違っ降りてしまって、付添の姉と会えなくて困ったとき、通りがかりの人にヘルプカードの裏面見せて姉に電話をかけてもらった。姉が来るまで近くで見守ってくれていた。
- ・電車で席を譲ってもらった。あとは何かしてもらったことはない。気づかれない。
- ・電車とホームとの段差で困っていた時に、周りの人が持ち上げてくれた。スーパーで商品が取れなくて、困っている時に近くにきた人が、声を掛けてくれて、取ってくれた。
- ・登山中、下り坂で転び運が悪く地面に大きな石が横たわり、そこに直接顔面をぶつけてメガネを破損し血だらけとなり救急手当だけをして帰宅、あいにく日曜日の午後5時過ぎ、近隣の医院は休みで、途方にくれましたが、ふと、錦糸町の墨田病院を思い出しそこで緊急手当を受けたが、医者は僅かな手当をただけで「帰宅したら怪我の箇所を良く水洗いして下さい」の指示、ただこれが物を言いごく短い日数で治りました。
- ・当初会社では病気のことをオープンにしていませんでしたが、あるきっかけがありオープンにしました。それでも皆さんが差別もせず理解してくれて、オープンにする前と同じように接してくれたのがありがたかったです。
- ・透析を受けておりますが、自宅近くまで車で送り迎えしてもらいとても助かって嬉しいです。
- ・働いているので仕事で助けてもらったりした時はすごくうれしかったです。今は新しい人を指導する事になり大変ですが自分が教えてうれしいと相手も思ってもらえたら自分もうれしいです。

- ・同じ、マンションの人では、あまり助けてもらった記憶がないのですが、地元の宗教団体の人が多少、親切にしてくれて励ましもしてくれて、ありがたいと思った。マンションの人によっては、エレベーターのドアを開けてくれた人もいて、うれしかった。
- ・道で倒れた時大丈夫ですか？と女性の方が手を貸してくださった時(母親も一緒の時)。
- ・道を譲ってお礼を言われたり、会釈やほほえんでもらえたこと。なにげない思いやりがうれしい。おかげさなことは逆に極端な話差別されているように感じてしまうので、さりげない心配りがとてもうれしいです。
- ・道路で転んで男の人4、5人で起こしてもらった時はありがたかったです。
- ・道路で転倒して起きられなくなった時に手助けして起こしてもらった。
- ・難聴なので聞こえない時に大きい声とか肩をたたいて教えてもらった時。
- ・難病で日差しがダメなので日影の場所をすすめてくれたりしたとき。
- ・難病医療券を頂いているおかげで、医療費が¥20,000までの支払いで済み助かっています。ヘルプマークをつけているので、たまに席を譲ってもらえるが、もっと周りの人に知ってもらえたら、買い物や通院も楽になると思う。
- ・難病申請する時、わからない事ばかりで不安でしたが、保健所、区役所の職員の方々がとても親切でとてもありがたかったです。
- ・日頃から、まわりの方とのコミュニケーションを大事にしていってあいさつや、声かけをしている。その為、顔見知りの方がとても多く、相手の方から声をかけてくれるのが嬉しい。お年寄りの方も、インド人の方も声をかけ合ってくれるので自分の気持ちもとても良くなり気分転換になっている。
- ・日頃は主人のサポートを得て暮らしていますが、都合のつかない時には、同じマンション内にサポートを申し出てくれる友人がいるので心強い。
- ・日常生活を少し苦労しているけれど過ごせていること。
- ・日々通所している施設のスタッフに介助されて昼間の時間をすごしています。重度の障害を持っている本人として又、家族として本当に有難く思います。
- ・日本人は表現が上手ではなく、思い切つてできないと思う。もっと大勢の人が何気なくしてほしい。
- ・日曜教室が、あってうれしいです。いろんな手芸をして楽しいです。
- ・入浴介助(居宅介護)で入浴を楽しめる。
- ・買い物に出かけたとき場所がわからなくなり、そのお店まで連れて行っていただいた。このようなことは何件もありました。今の若い方はとてもやさしくて親切で助かりました。
- ・白い杖を使用しているので、周知してもらえらること。
- ・発達障害自体が他人から分かりにくいものなので何かしてもらったということがありません。
- ・病院で席を譲ってもらったことがある。

- ・病気を発生して、何も出来なかったが(生活のすべて)、現在は、移動支援を受け、散歩に色々な場所につれて行っていただき、足も丈夫になり、気分転換にもなってありがたいです。
- ・夫が家事・育児にとっても協力的。長期入院時など、両親に助けてもらえる。
- ・普通に歩き、生活が出来るので特にありません。
- ・風邪などで体調を崩した時に近所の方が食べものを届けてくれたこと。
- ・福祉への相談を病院のスタッフがしてくれた。
- ・弁当を買ってきてもらったこと。
- ・保健師の方が気にかけてくれる事。子ども家庭支援センターの方が親身になってくれる事。
- ・歩いていると、人の気遣いを感じる。
- ・歩行がうまく出来なく出先で転びやすい。バス降車の折、転び助けてもらい、家まで送っていただいた。感謝以外何のものでもない。障害者と分かると道をあけてくれる人が多くなったように感じる。ありがとうございます。
- ・歩行の気遣い。
- ・母が祖母の介護で急に出かける時に、一人で留守番することなく緊急一時保護でスタッフやヘルパーさんに助けてもらい、安心できた。
- ・母親に家事をやってもらっている。自分でも少し。一人ぐらしの時は大変だった。
- ・忘れものや、落としものが多いので、それに気付いて助けてくれた時。
- ・民間企業の障害者雇用。
- ・名前を呼んで話しかけてくれた。
- ・夜間病院に行きたい時タクシーを拾ってくださった。
- ・役所での手配に時間がかかってもゆっくり待ってもらえた時。
- ・優先、声かけ。
- ・友人からの支援。ママさんバレーの仲間の支援。言葉が出ないのですがいっしょになって話してくれる。
- ・理解者が母しかいないからつらい。
- ・両親、ヘルパーさん方、作業所の職員さん方に日々数え切れない程、優しくしていただき、感謝。

<障害児調査 問40>

内容	件数
・特になし。	(14件)
・バスや電車で席を譲ってもらえたこと。	(4件)
・エレベーターのドアを押さえてもらったり、声をかけてもらったり、難しい事でもなく、ちょっとした気遣いがうれしい。	
・ほめてもらえることが少ない息子をほめてもらえたこと。子供に声を掛けて、話を聞いてくれた。息子が困っている時、話を聞いて、私に連絡をくれた。	
・外出時に子どもがパニックで大さわぎしている時に、やさしい声がけをもらったこと。	
・子どもがパニックの時、小児科でおちつける場所を貸していただいたこと。	
・幼稚園の入園健診前、子どもが感覚過敏で衣服を着られず、裸ですごし外出できなかった時に、園長先生が、園の小動物と家庭訪問してくださったこと。その動物に会いたい気持ちになり、翌日、数週間ぶりに外出できたこと。	
・子供の様子を一緒にみてくれて、的確なアドバイスをもらったとき。	
・声をかけて一緒に関わりを持って遊んでくれる事。	
・我が子の手を離すと道路などを走って行ってしまうため、倒してしまった自転車を直せずにいた時、まわりの人が直してくれた時。	
・病院で待てない我が子に対して忙しい中受付の方より私がみているからお母さんは今のうちに問診表書いていいよと優しく対応された時。	
・1人の手ではどうしても足りなく周りの人が助けてくれる事に日々感謝しています。	
・補聴器と人工内耳を外している時、友達がジェスチャーで伝えてくれたこと。	
・友達が指文字を覚えてくれ、聞こえにくい時には指文字を使って話してくれたこと。	
・学校(通常級)の先生が自主的に考えて、配慮してくれたこと。	
・毎朝、スクールバスのバス停に行く間に顔を覚えてくれてあいさつをして下さる人がいる事。	
・道で座り込んでいる時に、はげましの言葉をかけてもらった事。	
・0歳から通っている保育園では、職員、保護者、園児を含め、障害を理解してもらい、親子共々居心地が良い。知っていると知らないでは大きな差がある。	
・2才頃勝手に家から出て川に入ってしまったところ、カヌーに乗る大人の方々が助けて下さった事。	
・2歳の時に発語が遅いことに不安があり、みずべで相談したのがきっかけで療育を受けることになった。その時に早く情報を教えてもらえて助かった。	



- ・CoCoや保育園、療育で通院している心理士さんやドクターに、適切なアドバイスをうけることができ、日頃の悩みを聞いてもらえてとても心が軽くなりました。
- ・うちの子は、見た目では分かりづらいので、あまり助けてもらえている様には感じない。
- ・いつも通所施設の先生と保護者の方にお世話になり、いろんな相談をのってもらって、助かりました。感謝します。ありがとうございます。
- ・エレベーターで、バギーがひっかかり困っていた時助けてくださった主婦の方。吸引の音で迷惑をおかけし居づらかった病院の待ちあい室で、子どもと私をねぎらってくださった看護師さん。バギーでチューブにつながれている子どもを見て「大丈夫？いたくない？」と心配して声をかけてくれる子どもたち。たくさん助けていただき救われています。
- ・お友達が本人の特性を理解してくれて、手助けや一緒に遊んだりしてくれた事を聞いた時。学校も嫌がらずに楽しそうにすごしている姿を見るとうれしい。
- ・お友達に短時間子供を見てもらって用事を済ませる事ができた。療育の先生方に、小学校での困り事。の相談が出来る。同じ療育のお母さん方が、気にかけてくれる。
- ・かんしゃく泣きをしている時(ショッピングモールで)知らないおばさんが小さなおもちゃをくれて、落ち着いた時、ありがたいと思いました。
- ・クラスの皆に子供の障害について発表した事でより理解して、手伝ってもらえるようになりました。
- ・グレーと言われていたが、東部療養センターにて診断を受けた時はなぜかホッとした。ようやく必要な療育を受けられるようにもなった。診断後、幼稚園の教員からの接し方が変わったように思う。
- ・こどもがかんしゃくを起こして道ばたでゴロゴロしている時に、「大丈夫だよ」と声をかけてくれる人がいると救われる。
- ・コミュニティーに入れてもらったこと。
- ・しっかり立ってられないのを見て、通園のバスでは良く席を譲ってもらい助かっています。
- ・スクールカウンセラーの先生が話をきいてくれる所。
- ・つばさ学級の先生にほめられたことが母子ともに嬉しかった出来事です(優しい、いい子ですと言われた)。
- ・ない。信用できるのは家族だけ。
- ・なかなか遊びが途中でやめられず、帰宅を促しても無理だった時、声をかけてもらえ一緒に手をつないで近くまで帰ってもらえた時は本当にうれしかった。ささいなことでも温かく見守り、声かけてもらえるとそれだけでうれしい。

- ・バスで席が空いておらず、子供がかんしゃくを起こした時に、席を譲ってくれた人がいたのがうれしかった。バスの中で子供の大事なぬいぐるみを忘れていた時に声をかけて渡してもらったのが助かった。
- ・ひまわりの先生は相談しやすいです。理解ある先生でした。
- ・別に何かをしてもらうより、障害について誤解しないでちゃんと知ったうえで応援してくれる。それだけでがんばれるし、前向きになれると思う
- ・まだ小さいので周囲の方には好意的に接してもらい、本人も嬉しそうにしている。
- ・まだ発達障害だと気付いていなかった頃、人見知りや場所見知りがひどく、どこへ連れて行っても大泣きしていましたが、それでも一緒に遊ぼうと児童館で会ってくれたり、公園に誘ってくれたりしたお友達には感謝しています。今でもママ友で、仲良くしてもらっています。話し相手が居るだけでも、私に気持ちのゆとりが出来ました。
- ・まだ幼いため、周囲の方は障害がある(可能性)とっていないと感じていますが、日頃通っている児発では、親子共に寄りそっていただき、大変感謝しています。
- ・見て見ぬふりの人が多い中、かんしゃくを起こし大暴れしている子供に優しく声をかけてくれて落ち着かせてくれた事。
- ・ゆっくりでいいですよとってもらった。
- ・レジでのお会計時に子供連れだと毎回、お菓子をもらえる事です。核家族なので、地元のおじいちゃんたちと交流できる場として商店街のみなさんが気さくに接してくれるのが有難いです。
- ・ろう学校から地域の学校に転校しました。準備に時間をかけて対応していただき、心強かったです。
- ・引っ越してきて情報がなく困っているときに同じスクールバスのバス停の方々からいろいろと教えていただきました。
- ・引っ越しを機に(江東区内で)転校した先で、担任になられた先生と、ひまわり教室の先生の子供に対する勉強の教え方や、少しでもできた事をすごくほめてくれるやり方に、以前の学校とは比べものにならないくらいうちの子に合っていて、感動しています。同じ学校の先生でも、全然違うのだなと思いました。
- ・温かい目で見守ってくれたこと。
- ・我が子は偏食がひどいのですが、保育園で、例えばカレーライスがでる時、ご飯は食べられるので、カレーとご飯を分けて、だしてくれる。ありがたいです。
- ・学校に来られなくなってから、友達が電話をくれたこと。
- ・学校の校長先生、副校長先生、担任の先生方が理解してくださっており、クレームを言う保護者から守ってくださり本当にうれしかったです。子どもが少しでも楽しく学校生活が送れるように配慮してくださったり、アドバイスをいただいたり、助かっております。CoCo でも子どもの相談にも対応してくださり

CoCo を卒業した今でも心強く思っております。江東区はすごいと思っております。ありがとうございます。

- ・学校の先生(担任)や支援の先生方、放課後デイサービスの先生方から温かく接していただけています。親子共に安心させてもらっています。
- ・学校の授業中にパニック状態になり過呼吸を毎日くり返してしまう時期がありました。この時に、先生方は交替で子どもの授業へ一緒に参加してくれました。養護の先生とは毎日話をして心の中を打ちあけることができたようです。本人も親もとても助かりました。
- ・学校の先生方やデイの先生方には、子供のことを理解していただき、感謝しています。
- ・学校の担任の先生、ひまわり学級の先生、放課後デイサービスのスタッフの方々、皆様から手厚くご支援いただけており、大変感謝しております。
- ・学校の担任の先生はよく配慮して下さいます。
- ・学校や知人からはとても良くしてもらっているが地域の人に特段助けてもらったことはなく、孤立していると感じている。どこに相談へ行っても、近所の方から理解してもらえないようにしてくださいとアドバイスを受けるができない。
- ・学校や放デイ、訪看など障害に理解がある人からはとても良くしてもらっている反面、一般の人に関しては恐くてこちらから近づこうとは思わないので、そういった機会はありません。
- ・学校行事の参加が難しいことが多いのですが、先生方が参加しやすいように配慮してくれたこと。
- ・感情コントロールができなくてもそのままを受け止めてくれる仲間がいることがありがたく、うれしい。担任に、息子のペースに合わせた学習指導をしてもらっていること。
- ・気にせず接してくれること。
- ・区立幼稚園へ入園できた理由としては、加配をつけることができたことです。幼稚園の担任の先生の知識・理解、対応策、人間性は最高でした。周りの理解と私どもの努力を見てくださっていたお陰で少しずつですが成長させていただけました。もし、支援が必要とは知らず(分からず)だったならば、親は精神的にもまいってしまっていたと思います。幼稚園に入る前に動くことが出来、よかったです。兄もADHDなので、自分に知識があり、CoCo さんともつながっていたので救われました。
- ・具体的な育児ポイントのアドバイスや成長の様子を知らせてくださったりし育児する上でとても励みになりました。
- ・具体的に場面を考えると難しいが、「声掛け」は大切だと思っています。なかなか勇気があることでもありますが、困っていても声を出せない人も多いので、明らかに困っている行動を見かけた時には声を掛けるように心がけています。

- ・健常児と同様に接してくれること。不足(未熟な)なところは手助けしてくれ、共にあそび、対応してくれること。
- ・健常者と同じ扱いをされること。
- ・見た感じでは障害があるとは分からないのもあり、ニコニコと知らない人に近づいていくことがよくあり、気味悪がったりせずかまってくれる方もたくさんいます。
- ・現在、通園中の保育園の担任は息子の成長度合に合わせてなるべく尊重してくれるような姿勢で関わってくれているので安心して任せられること。
- ・言葉が通じず困っているときにヘルプしてもらった。放課後等デイサービスで急遽スポット利用させてもらった。
- ・公園などで差別なく遊んでもらえる。
- ・公立学校に通っているが、校長、副校長はじめ担任、支援学級のスタッフの方々がとてもよくしてくれている。その分、小学校卒業後の環境変化に不安を感じている。
- ・江東区へ転校した時の中学校は沢山区に説明しましたが、通常級への入級になった。学校へは行けず、ずっと不登校でしたが、通常級の先生がよく話を聞いてくれて子どもへ沢山関わってくださったので、最後の1年は支援級に登校でき、希望の高校へも入学できたので、通常級、支援級の先生方には感謝しています。
- ・行動が遅いので、遅れることがしばしばあるが、近くの子が手伝ってくれたりする。でも遅いことに関して文句を言われることの方が多い。
- ・高齢者の方は、優しく声をかけてくださいます。学校の先生やデイサービスの職員さんには、感謝しかありません。
- ・子どもがいなくなった時に友人や警察の方が探してくれた。
- ・子どもが外出先でパニックを起こしてしまっている時に迷惑な顔や怒鳴りつけたりせずに理解してそっと見守ってもらえた時は本当に救われます。子どもなりの小さな成長について一緒に喜んでもらえるとても嬉しく励みになる。
- ・子どもが迷子になったときに、知らない方に自販機でお茶を買ってもらいました。通学時に安全支援のPTAの方に目をかけて声かけなどしてもらっています。
- ・子どもが療育に通っていると知っても、変わらず親しくしてくれていること。問題が起きたときに、正直にそれを伝えてくれるだけでなく、その後の対応等を一緒に考え受け入れてくれる友人がいること。発達のこと、逆に相談してくれる人が増え、周りの理解が広まったこと。
- ・子どもだけでなく親(私たち)もほめてもらったとき。親に対して、やさしい言葉や心づかいをうけられる機会は少ないため。
- ・子供が私の手をふりほどいて走ってしまい迷子になったとき、近所の方がみんな探してくれたこと。

- ・子供の障害特性を、変な目で見ずに「かわいいね」とプラスに受け取ってくれたこと。子供が言うことを全然聞けず、いたずらをくり返してしまう時、親まかせではなく、周りの人みんなで止めようとしてくれたり、気にかけてくれたこと。
- ・子供と一緒に外を歩いている時や、買物をしている時に、笑顔で挨拶してもらったり、身長がのびたり、大きくなったことを喜んでくれたり、見守ってくれていると感じられた時、とても嬉しく思いました。また調子が悪く歩けなくなった(本人)時に、すぐに近くにいた方が次々に声を掛けていただき手助けいただいた時には、本当に助かりました。又、学校、放課後デイ、移動支援の事務所の方々にはいつも大変感謝しています(生活全般、充実してすごせる時間、その他相談等)。
- ・子供が出来ない事を、こうやるんだよと子供の友だちが見て手助けしてくれたりするのを見て、親が子供を尊敬するということがありました。大人は案外冷たい目で見ることが多かったです。子供は純粋に助けてあげたいという気持ちを持っています。クラスに手助けが必要な子がいる、交流しているということで、差別的なことがなくなるかもしれないなと思いました。
- ・子供の性格や特性を理解してもらえたこと。親の悩みや辛さを聞いてもらえたこと。
- ・支援級や CoCo の先生などに相談すると、皆さん親身になって応えてくれ、子供自信が何を考えているのか、こう対応するのがいいんじゃないかと教えてくれるのがありがたい。
- ・私はシングルマザーで祖母と娘3人と暮しています。私の職業柄、時間が遅かったり、昼、夜勤務だったりと定時がほぼないので介護1の母と3年生の娘で1日すごすなど食事の心配や、母に無理させてないか毎日、不安でしょうがなかったのですが、学校の担任にスクールソーシャルワーカーの存在や、相談支援のこととか教えていただき、フォローしてもらえる事になりとてもありがたかったです。周りの方達とのコミュニケーションは重要だと思いました。
- ・私は周りの人に恵まれています。義実家はいつも助けてくれるし、子供をととてもかわいがってくれます。会社も全員がそうではないかもしれませんが、理解を得られています。
- ・私立幼稚園に週4日通園していますが、障害について理解して頂き、入園させて頂けた事が本当に有難かったです。入園後、クラスメイトや保護者の方々にも支えて頂き、とても感謝しています。近隣の区立幼稚園は2年保育の為、3年保育の私立に入れた事は有り難かったです。現在通園している園の先生方にはご負担を沢山掛けてしまい申し訳ない気持ちもあります。障害児が私立幼稚園を利用しやすくなるような園へのサポートも充実して頂けると有り難く思います。
- ・児童館ではほかの子とケンカになっていたのを連れて行かなかった。みずべを紹介していただき、そこで初めて安心して子供を遊ばせることができた。子供

は6歳になったが、あの時の感謝の気持ちは忘れられない。母親の私もとても助けてもらった。気が楽になった。

- ・自然な形で手伝いをしてくれた時。
- ・自分でいきなり外に出て、エレベーターを乗りつづけた時、知り合いが電話で教えてくれた。
- ・自分のことが話せないので、好きそうなものを提案してくれたり、様子をよく知らせてくれる先生方が多かったこと。バスの中で、少し騒ぐかもしれませんが、と近くの方にお伝えしたら、子供はうるさいくらいがいいよ！と声かけをしてくれたこと。
- ・車イスで都バス乗車時、運転手さんが気を遣ってくれた、対応が親切だった(毎回では無い)。
- ・車いすを押して息子の歩行練習を公園でしていると、通りすがりの方に「何かお手伝いできる事はありますか？」と声をかけていただける事がよくあります。優しい声をかけていただけるのはとてもうれしいです。逆に、車いすで電車に乗った際にじゃまだったようで唾をかけられたり、道で「税金で生かしてもらっているのに大きな顔して道を歩くな」とどなられた事があります。
- ・受け入れてもらえたとき。成長と一緒に喜んでもらえたとき、うれしく思った。
- ・住吉の児童通所施設に通っています。先生方や保護者の方たちもとても理解があり、助けてもらっています。
- ・助けてくれる人なんていない。
- ・小学校からの帰り、支援級の子ということで、同じ学校の普通級の子にバカにされた時、その普通級の子の友達と思われる子が「おまえそういうのやめろよ」と注意してくれた事。
- ・小学校の担任の先生が集合写真でフラッシュが苦手な息子の手をつないで写真をとってくれたり、雷の音が苦手な息子に廊下でクールダウンする時間をとってくれたり、とても配慮してくれて助かっている(通っているのは通常学級)。
- ・小学校を人数の少ない学校と選んで通わせた。全校生徒の親が見守ってくれる環境で良かった(区外公立校)。
- ・小学校入学してから、すぐに面談で担任の先生から、生活面へのアドバイスや家庭学習においてのこと専門性の高い先生に出会うことが出来、5年まで我が子の特性への情報共有と理解が得られています。学校では、クラスの子ども達からも自己肯定感を高めてもらっているようです。同じ障がいをかかえた親同士だからこそ、親のこころを守るという意味でも、学校、放デイで出会った仲間と支え合って、育てています。何かあったら、何でも言える相手がいることが一番大切だと思います。
- ・小学生の息子は幼い時から体の動かし方がぎこちないのですが、小学2年生の課外活動で長い階段を下りた時、一段ずつ下りる息子はかなりゆっくりで、他のお子さんとはペースが合いません。その時、クラスの皆が「〇〇くんゆっくり

でいいよ」「待ってるから」と声をかけてくれ、それが自然にできていたようで、先生から聞いて嬉しくなりました。

- ・障害がある人と、ひとくりにせず、個人としてふつうに扱ってもらうことです。助けが必要な時には、助けますよ、という感じがいいです。一般人の中にも困っている部分を持つ人がいるので、分けないで困っていたら助けられる部分は、助けることがうれしい。
- ・障害と関係はありませんが、エレベーターのボタンを押したがる息子の様子を見て周りの方がゆずってくれる事が多いです。(自宅マンションで)電車に乗って座れないとすぐ痲癢をおこし大泣きをしてしまうのですが、そんな時に座席をゆずってくださる方がいた時に申し訳ない気持ちと感謝の気持ちになります。なかなか公共機関の乗り物に乗る気持ちになれません(親が)。
- ・障害の特徴を知ろうと話を聞いてくれたこと。聞いてくれた人に関しては行動に理解を示してくれたり、手を貸してくれたり、助けようと動いてくれただけでも嬉しく感じる。
- ・障害の有無に関わらず家族ぐるみで遊びに声をかけてもらった事。
- ・障害の有無や種類でカテゴリ化するのではなく、その子自身を見て接してもらえることが嬉しいです。
- ・職場体験で周りの人にやさしくされました。
- ・新型コロナワクチンの集団接種で障害児の扱いが上手な(声がけ、接し方等)看護師さんがいて助かりました。こちらも“コンサータ”の情報を出しているので何となく察してもらえると助かります。
- ・人格否定されず、優しく接してもらえること。
- ・生きる力を付けるための支援を考えてくれた。障害があってできないことより、できることや素晴らしい面を見てくれた。社会にとっての大切な子供として考えてくれた。気持ちを聞いたり尊重したり時間をかけてやってくれた。将来を楽しみにしてくれる。
- ・足が動きづらいので、学校で4階に教室があり、椅子をはこぶ際手伝ってもらった事がありました。クラスの子にとっても助けてもらっていました。
- ・誰彼構わずに話しかけてしまう傾向があるため、特にお年寄りの方は、お返事してくれることが多く、申し訳ない気持ちと、嬉しい気持ちと両方あります。
- ・中学で不登校となり、ブリッジスクール、放デイに通っています。どちらも先生方が大らかで、息子をはげましてくれます。できている部分を認めて下さり、ありがたいです。
- ・聴覚過敏がありドライヤーの音を嫌がっていたが、美容院で本人とコミュニケーションをとりながらゆっくり時間をかけてこわがらずにドライヤーをかけてくれた。本人のありのままを受け入れつつ、一歩踏み出すまで待つてくれる対応がありがたかった。

- ・通っていた保育園の園長や教職員が子供の成長を常に気にかけてくれ、ADHDの傾向が強い子供の子育てで悩んでいた時にも温かく、そして優しくサポートしていただけたことが忘れられません。
- ・通っている療育施設では子供だけでなく、親の体調やメンタルまで気遣っていただけていつもありがたく思っています。
- ・通院先で落ち着かず走り回っていた息子を見て、「うちの子も小さい時こんな感じだったけど、今中学生になって落ちついたのよ」と、障害児育児経験のある女性が話しかけてくれて涙が出た。どこにいても迷惑がられ、睨まれ、舌打ちされ、色々と自信をなくした時に声をかけてくれたのでうれしかった。経験したことのない第三者にいわれる言葉は不快だし耳障りなので黙ってくれと思う。
- ・通院先の併設されたカフェで他人のケーキを食べてしまった時、やさしく声をかけてくれた時、うれしかったです。
- ・電車の乗り降りを手を貸してくれたこと子供が小さい時で泣きやまなかった時「元気でいいね」「お母さん頑張っているね」など声をかけてもらったこと、電車やバスなど抱っこしていると席をゆずってくれたこと。
- ・登校時に道路上で行き渋っていても近所の人が声かけ(応援)してくれる。
- ・都陸上競技大会などへの参加、表彰された事。
- ・特にない。こどもだから今は助けてくれるだけで、大人の障害者は変な目で見られる方が多い。
- ・特にないが、小さい頃からずっと療育を続けて来た事を「それがあったからですね、しっかり成果として出ている」と認めてもらえた時は、無駄じゃなかったんだと非常に嬉しかった。
- ・特になし。正常者から冷たい目で見られることが多く生活しづらい日々を送っている。
- ・特になし※子どもの健康や生活に不安がないため。
- ・独り言を言うのですが、「気にしなくて大丈夫よ」と声をかけてくれたのは嬉しかった(子どものことです)。
- ・南砂の子ども家庭支援センターの一時保育。1人の世界であそぶ娘に保育士さんがマンツーマンであそんでくれて、娘の動きにアテレコをしてくれます。また健常児との仲介役に入ってくれるので、普段療育に行っている娘にとって、子供から話しかけられることはとてもよい体験になります。親がいると引き目を感じて避けてしまいがちですが、南砂のスタッフさんは上手に自閉娘と健常児の間に入ってくれたのがとてもうれしかったです。一時保育の後の娘はとっても楽しそうに帰ってくるのもうれしいです。
- ・発達について私の友人や家族、主人の家族からの理解が深いことが一番助かっていて心の支えです。
- ・普通に接してくれること。



- ・病院では大声を出したりしても、気にしないでいいよと先生や看護師さんに言われて助かりました。
- ・武蔵野心理臨床センターに通わせていただいておりますが、通常は2週間に1回ですが、毎週通わせていただき大変ありがたかったです。ボーイスカウトにも参加させていただいていること。
- ・保育園から理解を得られ、早期療育や専門の医療機関にも通えているので、孤立せずに済んでいる。児童館の先生にも支えてもらった。
- ・保育園では他の子どもとコミュニケーションが取れず孤立しがちなのですが、先生が気にかけて話しかけてくれたり、他の子の遊びに参加しやすいように促してくれたりします。
- ・保育園で毎日薬を飲ませてくれていること。
- ・保育園の園長が、クラス活動についていけない我が子に対して、何か出来ることはないかと職員同士で話し合いを適宜行ってくれており、苦手を克服するような作業や出来る範囲にレベルを下げ、活動は参加させてくれていること。保育園の理解ある保護者の方々が、我が子に必ず丁寧にあいさつをしてくれる。
- ・保育園の先生や園児の保護者が、息子の成長について「～するようになったね」など声をかけてくれると、一緒に見守ってくれているようで嬉しい。
- ・保育園の同級生の子どもたちがやさしい。同じ子どもの理解を得られているというのが一番安心する。他の子どもたちが特別扱いすることなく素直に接している。
- ・放デイのスタッフの方には本当によくして頂いており感謝しています。
- ・放課後デイの相談支援が、本当に親身になってくれます。実際に区役所の方へかけ合ってくださいたりと助かっています。
- ・本人が動こうとしない(出来ない)ので、外部の方と接する機会はほとんどない。よって助けってもらう機会も相談する機会もなく、一日一日悶々と過ごすのみ。親が動いても、結局子供が動かないと、全てがふり出しに戻る。区が踏み込んで対応してくれる訳でもなく、あきらめたり、調子の良い時に期待したりとの繰り返し。助けてもらった記憶はない。
- ・迷い子となった子を保護してくれた人がいた。
- ・目で見てわかりやすい発達障害ではないのですが、子どもがかんしゃくを起こしたりした時冷たい目を向けるのではなく優しい言葉をかけてもらえると助かります。
- ・友人から、子供を見て、この子のレベルであれば十分やっていけると声をかけてくれた時。
- ・遊びの仲間に入れてくれた。
- ・幼稚園、学校で特別扱いされる事なく接してもらえる、それ自体がとてもうれしいです。見た目で障害があるとはわからないので、接してみても、それでもまわりのお友達と同じようにしてくれる、必要な配慮はもちろんしてくれる、それが

本当にありがたいです。発達障害という言葉はよく聞くようになりましたがまわりの理解がないとまだまだ生活しにくいと感じます。

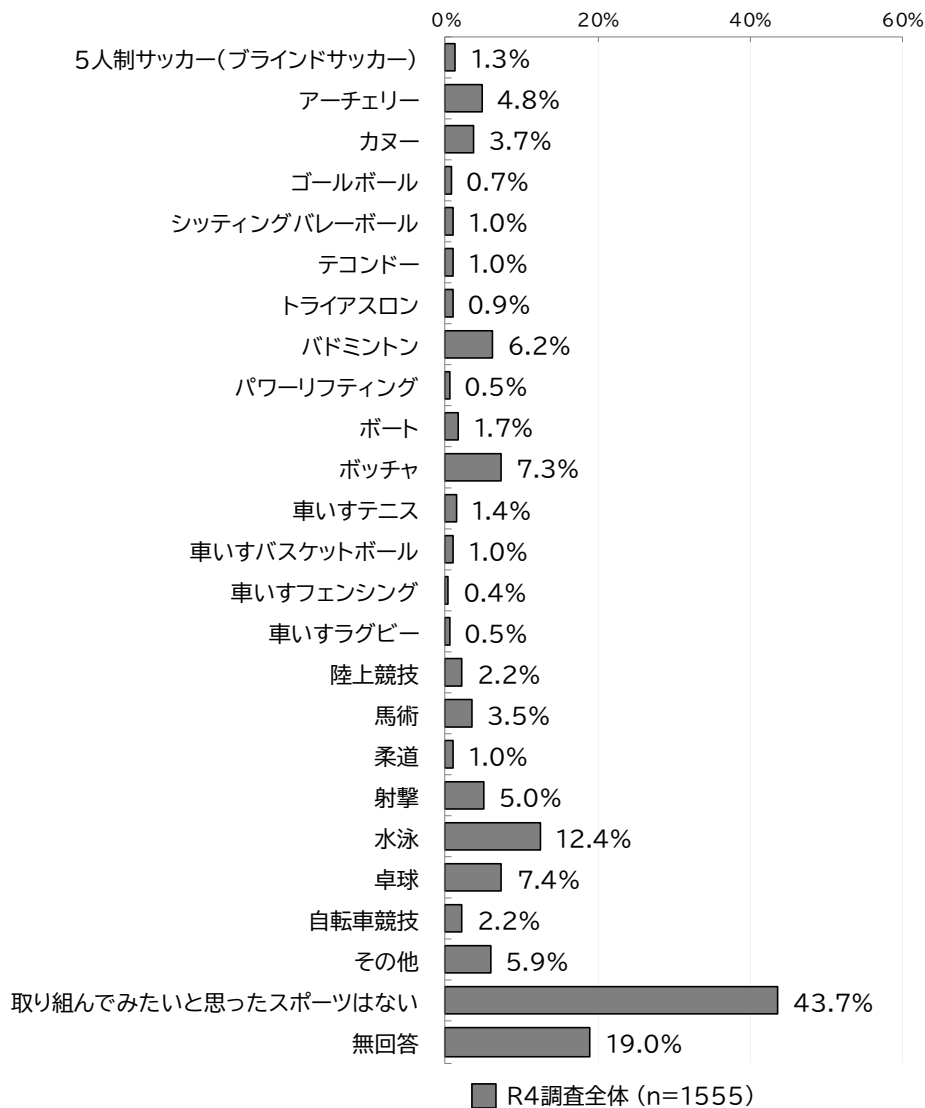
- ・幼稚園で障害の理解がなく怒られたり、注意される事ばかりでしたが児童発達センターの先生が親身になって相談にのってくれたりして救われました。
- ・幼稚園に通っています。集団参加させるにはかなり手がかかる子なので、遠足などの行事は先生方のご負担が大変ではないか心配して担任の先生に相談すると「もちろん参加してください！」と言ってくれ、翌日園長先生からも「私達はお子さんが他の子どもたちと同じ体験ができるようご入園いただいているので、お母さまはご心配なさらなくてくださいね。」と安心させてくださりました。
- ・幼稚園時代、周りのお母さん方の理解があり、園長先生もとても理解のある先生だったので、私も子どもも本当に救われました。合理的配慮とは、こういうことだと思いました。運動会でおどるダンスやうんていの練習を特別にやってもらったり、遠足時に他のお母さんが気にかけてくれたりしました。
- ・落とした荷物を拾ってもらったこと。
- ・理解無い人に嫌な顔されたり、嫌な事を言われたりした時、フォローしてくれたり、優しい言葉をかけてくれて、見て見ぬふりをする人が多い中、優しい人、理解の有る人もいるんだな、と、涙が出るほど嬉しかった事があります。もっと障害に優しい社会になって欲しいです。

## 9 障害者スポーツについて

問. 以下のスポーツのうち、取り組んでみたいと思ったスポーツは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

### <障害者調査 問46>

取り組んでみたいと思ったスポーツについて「無回答」以外で、令和4年調査全体では「取り組んでみたいと思ったスポーツはない」が43.7%と最も高く、次いで「水泳」が12.4%、「卓球」が7.4%、「ボッチャ」が7.3%となっています。



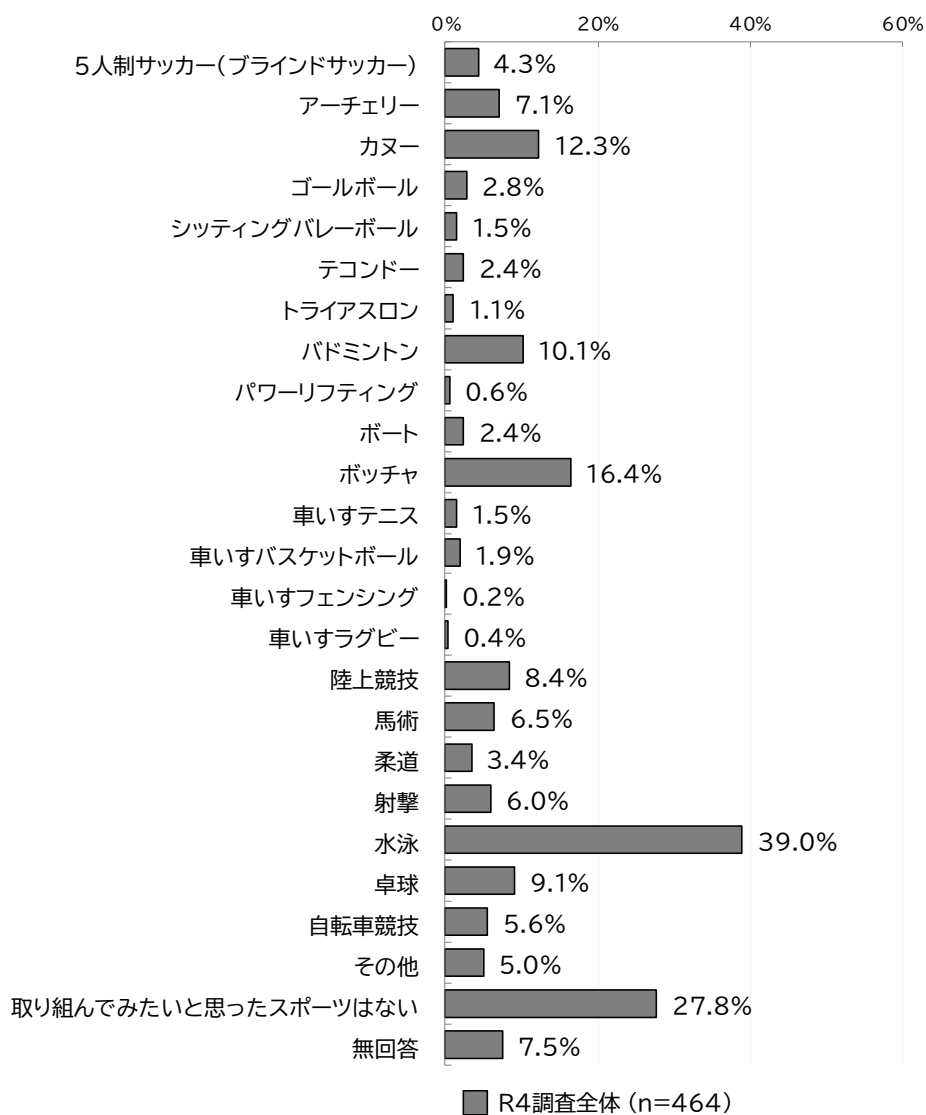
障害種別ごとにとみると、知的障害で「ボッチャ」が15.6%と他の障害種別と比較して高くなっています。また、発達障害で「自転車競技」が8.7%と他の障害種別と比較して高くなっています。年齢ごとにとみると、18～39歳で「水泳」が19.0%と他の年齢と比較して高くなっています。

1段目 人 2段目 %	合計	問46.取り組んでみたいスポーツ												
		サ ツ カ ー （ ブ ラ イ ン ド ）	5 人 制 サ ツ カ ー	ア ー チ エ リ ー	カ ヌ ー	ゴ ー ル ボ ー ル	レ シ ー ボ ー テ イ ン グ バ	テ コ ン ド ー	ト ラ イ ア ス ロ ン	バ ド ミ ン ト ン	ン パ ウ ー リ フ テ イ	ボ ー ト	ボ ッ チャ	車 い す テ ニ ス
身体障害	616 100.0%	1 0.2	26 4.2	23 3.7	3 0.5	2 0.3	5 0.8	3 0.5	28 4.5	0 0.0	6 1.0	46 7.5	9 1.5	
知的障害	301 100.0%	7 2.3	9 3.0	5 1.7	6 2.0	8 2.7	3 1.0	1 0.3	18 6.0	1 0.3	4 1.3	47 15.6	6 2.0	
精神障害	385 100.0%	8 2.1	24 6.2	18 4.7	3 0.8	4 1.0	4 1.0	8 2.1	31 8.1	3 0.8	13 3.4	18 4.7	4 1.0	
難病	454 100.0%	7 1.5	24 5.3	19 4.2	3 0.7	6 1.3	2 0.4	2 0.4	23 5.1	2 0.4	11 2.4	23 5.1	7 1.5	
発達障害	92 100.0%	3 3.3	9 9.8	7 7.6	1 1.1	0 0.0	1 1.1	5 5.4	11 12.0	1 1.1	5 5.4	4 4.3	1 1.1	
高次脳機能障害	90 100.0%	1 1.1	1 1.1	2 2.2	2 2.2	0 0.0	2 2.2	2 2.2	5 5.6	1 1.1	0 0.0	5 5.6	2 2.2	
18～39歳	311 100.0%	11 3.5	23 7.4	18 5.8	5 1.6	6 1.9	6 1.9	8 2.6	32 10.3	2 0.6	10 3.2	35 11.3	7 2.3	
40～64歳	661 100.0%	9 1.4	40 6.1	30 4.5	5 0.8	8 1.2	8 1.2	4 0.6	51 7.7	4 0.6	17 2.6	49 7.4	10 1.5	
65～74歳	301 100.0%	0 0.0	8 2.7	6 2.0	1 0.3	1 0.3	1 0.3	2 0.7	9 3.0	1 0.3	0 0.0	18 6.0	2 0.7	
75歳以上	258 100.0%	0 0.0	4 1.6	3 1.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 1.6	0 0.0	0 0.0	12 4.7	2 0.8	

1段目 人 2段目 %	問46.取り組んでみたいスポーツ													
	ト 車 い す バ ス ケ ッ ツ	ン 車 い す フ エ ン シ	車 い す ラ グ ビ ー	陸 上 競 技	馬 術	柔 道	射 撃	水 泳	卓 球	自 転 車 競 技	そ の 他	ボ ー ト リ ン グ は な た い ス ミ タ	取 り 組 ん だ み た い	無 回 答
身体障害	8 1.3	4 0.6	6 1.0	9 1.5	11 1.8	4 0.6	24 3.9	76 12.3	49 8.0	9 1.5	36 5.8	270 43.8	133 21.6	
知的障害	5 1.7	1 0.3	2 0.7	9 3.0	5 1.7	6 2.0	8 2.7	48 15.9	15 5.0	4 1.3	21 7.0	123 40.9	56 18.6	
精神障害	3 0.8	1 0.3	1 0.3	8 2.1	22 5.7	6 1.6	26 6.8	49 12.7	32 8.3	11 2.9	22 5.7	177 46.0	59 15.3	
難病	3 0.7	1 0.2	0 0.0	5 1.1	17 3.7	1 0.2	29 6.4	42 9.3	27 5.9	7 1.5	24 5.3	208 45.8	88 19.4	
発達障害	2 2.2	0 0.0	0 0.0	7 7.6	6 6.5	2 2.2	12 13.0	16 17.4	8 8.7	8 8.7	9 9.8	32 34.8	10 10.9	
高次脳機能障害	1 1.1	1 1.1	1 1.1	3 3.3	0 0.0	1 1.1	2 2.2	8 8.9	4 4.4	2 2.2	10 11.1	34 37.8	21 23.3	
18～39歳	6 1.9	1 0.3	3 1.0	14 4.5	18 5.8	8 2.6	24 7.7	59 19.0	18 5.8	11 3.5	22 7.1	126 40.5	28 9.0	
40～64歳	7 1.1	2 0.3	3 0.5	16 2.4	32 4.8	7 1.1	43 6.5	75 11.3	53 8.0	13 2.0	40 6.1	299 45.2	93 14.1	
65～74歳	2 0.7	3 1.0	1 0.3	3 1.0	3 1.0	0 0.0	6 2.0	32 10.6	21 7.0	7 2.3	15 5.0	141 46.8	71 23.6	
75歳以上	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.4	0 0.0	4 1.6	22 8.5	22 8.5	2 0.8	13 5.0	106 41.1	91 35.3	

### <障害児調査 問41>

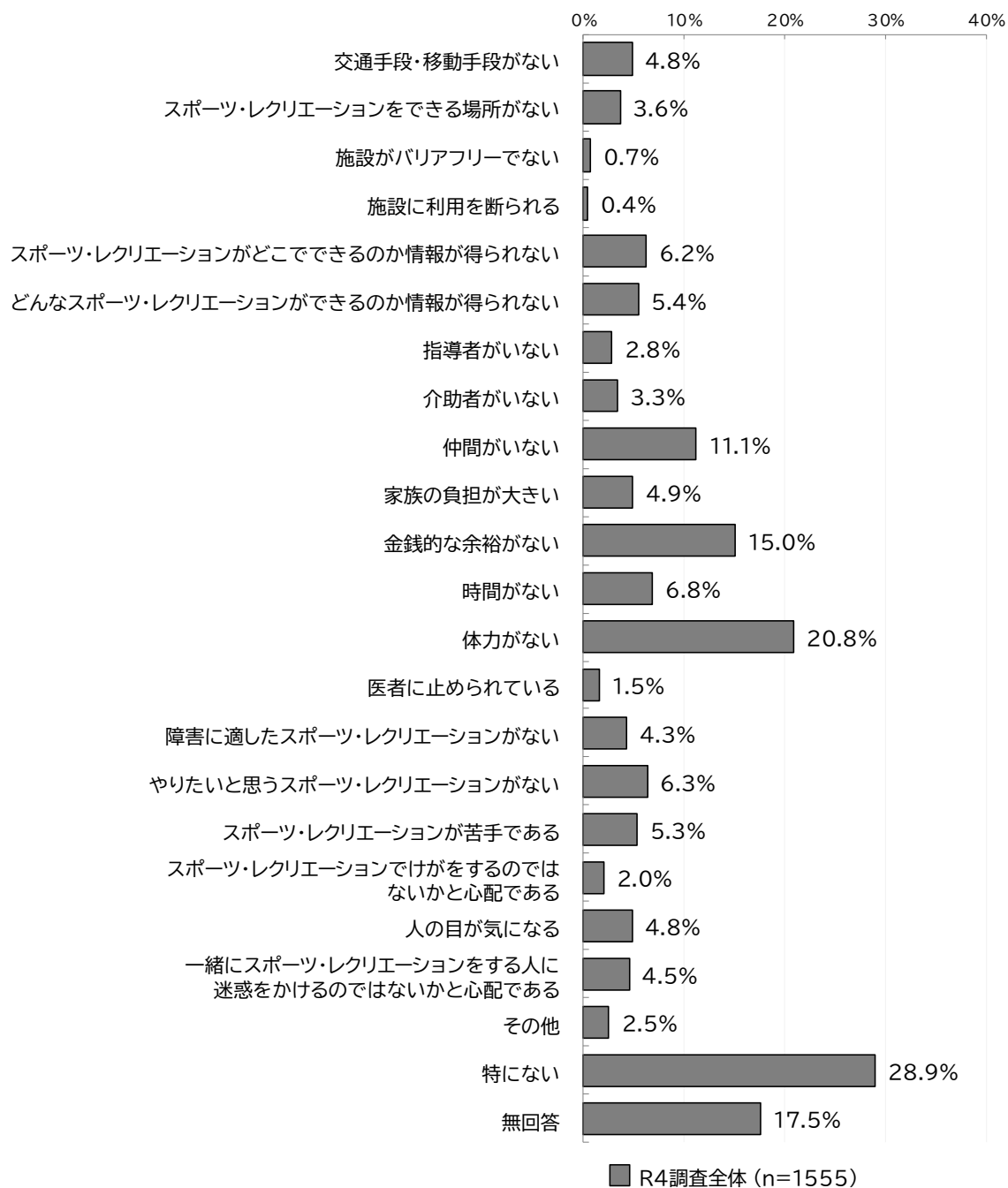
取り組んでみたいと思ったスポーツについて、令和4年調査全体では「水泳」が39.0%と最も高く、次いで「取り組んでみたいと思ったスポーツはない」が27.8%、「ボッチャ」が16.4%、「カヌー」が12.3%となっています。



問. あなた(ご本人)が、スポーツ・レクリエーションを行う際に困っていることは何ですか。  
 あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

<障害者調査 問47>

スポーツ・レクリエーションを行う際に困っていることについて「無回答」以外で、令和4年調査全体では「特にない」が28.9%と最も高く、次いで「体力がない」が20.8%、「金銭的な余裕がない」が15.0%となっています。



障害種別ごとにとみると、精神障害で「金銭的な余裕がない」が28.6%と他の障害種別と比較して高くなっています。また、「体力がない」は精神障害で29.4%、難病で24.4%、「人の目が気になる」は精神障害で10.9%、発達障害で9.8%と他の障害種別と比較して高くなっています。

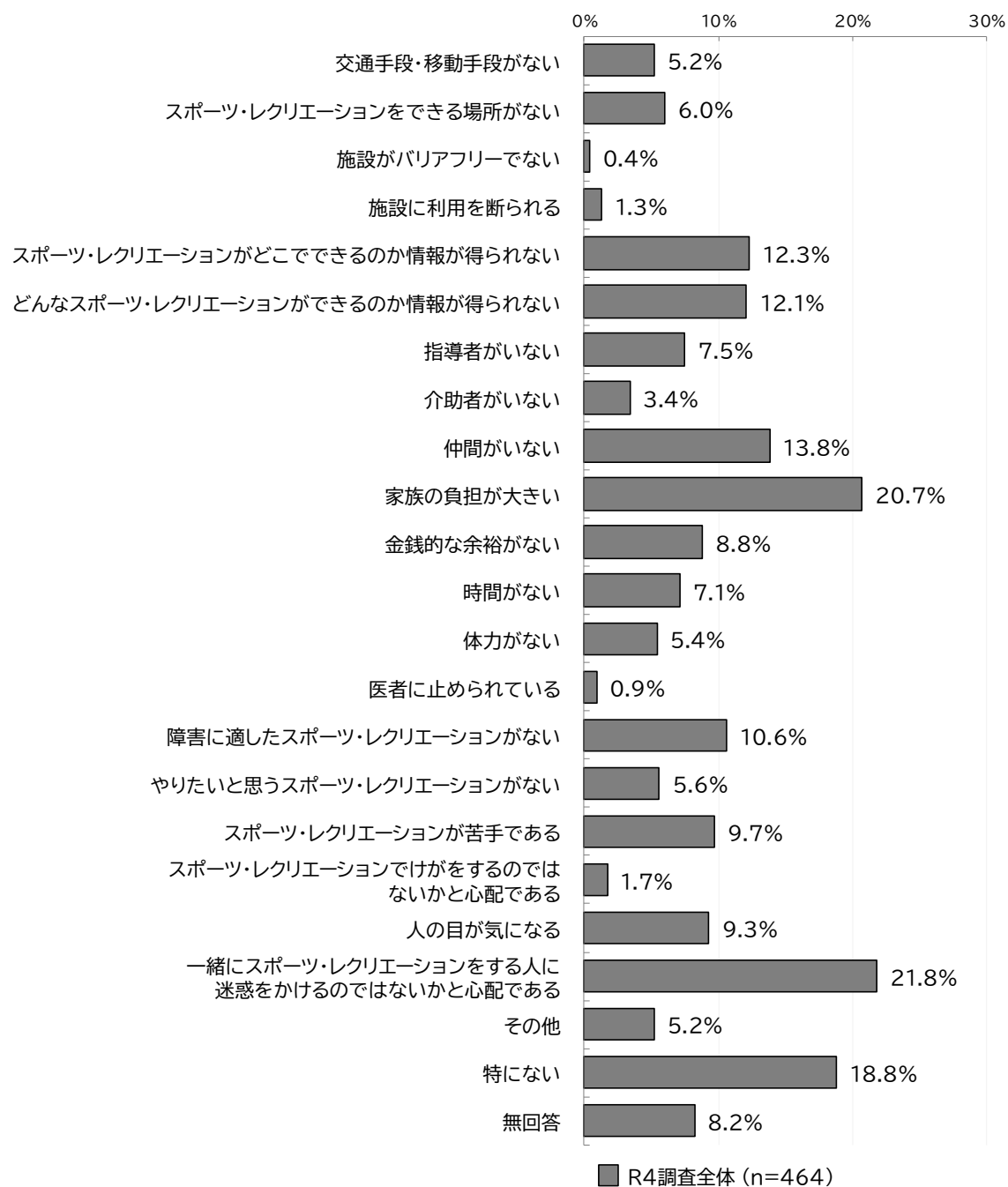
年齢ごとにとみると、18～39歳で「家族の負担が大きい」が10.0%と他の年齢と比較して高くなっています。

1段目 人 2段目 %	合計	問47.スポーツ・レクリエーションを行う際に困っていること										
		交通手段・移動手段がない	スポーツ・レクリエーションの場所がない	施設がバリアフリーでない	施設に利用を断られる	情報が得られない	スポーツ・レクリエーションの情報が得られない	情報が得られない	どんなスポーツ・レクリエーションができるのか	指導者がいない	介助者がいない	仲間がいない
身体障害	616 100.0%	38 6.2	19 3.1	6 1.0	3 0.5	39 6.3	40 6.5	18 2.9	24 3.9	61 9.9	27 4.4	75 12.2
知的障害	301 100.0%	11 3.7	17 5.6	2 0.7	2 0.7	21 7.0	21 7.0	16 5.3	30 10.0	34 11.3	38 12.6	24 8.0
精神障害	385 100.0%	19 4.9	12 3.1	1 0.3	2 0.5	23 6.0	19 4.9	9 2.3	7 1.8	60 15.6	14 3.6	110 28.6
難病	454 100.0%	22 4.8	16 3.5	4 0.9	2 0.4	22 4.8	24 5.3	9 2.0	7 1.5	36 7.9	14 3.1	57 12.6
発達障害	92 100.0%	1 1.1	5 5.4	1 1.1	1 1.1	8 8.7	4 4.3	2 2.2	6 6.5	17 18.5	4 4.3	15 16.3
高次脳機能障害	90 100.0%	6 6.7	7 7.8	1 1.1	0 0.0	9 10.0	2 2.2	4 4.4	5 5.6	12 13.3	9 10.0	9 10.0
18～39歳	311 100.0%	10 3.2	17 5.5	2 0.6	2 0.6	34 10.9	26 8.4	14 4.5	27 8.7	40 12.9	31 10.0	49 15.8
40～64歳	661 100.0%	25 3.8	23 3.5	5 0.8	3 0.5	36 5.4	28 4.2	17 2.6	15 2.3	82 12.4	28 4.2	130 19.7
65～74歳	301 100.0%	22 7.3	11 3.7	4 1.3	0 0.0	22 7.3	16 5.3	8 2.7	6 2.0	28 9.3	9 3.0	30 10.0
75歳以上	258 100.0%	17 6.6	4 1.6	0 0.0	1 0.4	5 1.9	12 4.7	4 1.6	2 0.8	20 7.8	7 2.7	22 8.5

1段目 人 2段目 %	問47.スポーツ・レクリエーションを行う際に困っていること											
	時間がない	体力がない	医者に止められている	障害者に適したスポーツ・レクリエーションがない	やりたいと思うスポーツ・レクリエーションがない	スポーツ・レクリエーションが苦	スポーツ・レクリエーションではないかと思	スポーツ・レクリエーションではないかと思	人の目が気になる	一緒にスポーツ・レクリエーションをするのが心配である	その他	特にな
身体障害	32 5.2	122 19.8	7 1.1	36 5.8	27 4.4	22 3.6	16 2.6	15 2.4	27 4.4	20 3.2	178 28.9	123 20.0
知的障害	10 3.3	31 10.3	1 0.3	21 7.0	26 8.6	17 5.6	5 1.7	10 3.3	13 4.3	3 1.0	87 28.9	55 18.3
精神障害	27 7.0	113 29.4	3 0.8	10 2.6	32 8.3	28 7.3	5 1.3	42 10.9	21 5.5	13 3.4	85 22.1	56 14.5
難病	39 8.6	111 24.4	17 3.7	15 3.3	28 6.2	23 5.1	14 3.1	13 2.9	15 3.3	9 2.0	135 29.7	77 17.0
発達障害	9 9.8	14 15.2	1 1.1	2 2.2	10 10.9	7 7.6	1 1.1	9 9.8	8 8.7	2 2.2	25 27.2	13 14.1
高次脳機能障害	3 3.3	17 18.9	1 1.1	3 3.3	3 3.3	1 1.1	2 2.2	2 4.4	4 4.4	6 6.7	19 21.1	20 22.2
18～39歳	23 7.4	59 19.0	4 1.3	23 7.4	29 9.3	23 7.4	2 0.6	26 8.4	18 5.8	8 2.6	85 27.3	24 7.7
40～64歳	63 9.5	142 21.5	8 1.2	20 3.0	39 5.9	30 4.5	15 2.3	39 5.9	25 3.8	14 2.1	198 30.0	106 16.0
65～74歳	13 4.3	55 18.3	8 2.7	17 5.6	19 6.3	21 7.0	8 2.7	5 1.7	13 4.3	7 2.3	89 29.6	63 20.9
75歳以上	5 1.9	60 23.3	3 1.2	5 1.9	11 4.3	6 2.3	6 2.3	3 1.2	13 5.0	10 3.9	73 28.3	72 27.9

## <障害児調査 問42>

スポーツ・レクリエーションを行う際に困っていることについて、令和4年調査全体では「一緒にスポーツ・レクリエーションをする人に迷惑をかけるのではないかと心配である」が21.8%と最も高く、次いで「家族の負担が大きい」が20.7%、「特にない」が18.8%となっています。





## 10 共生社会について

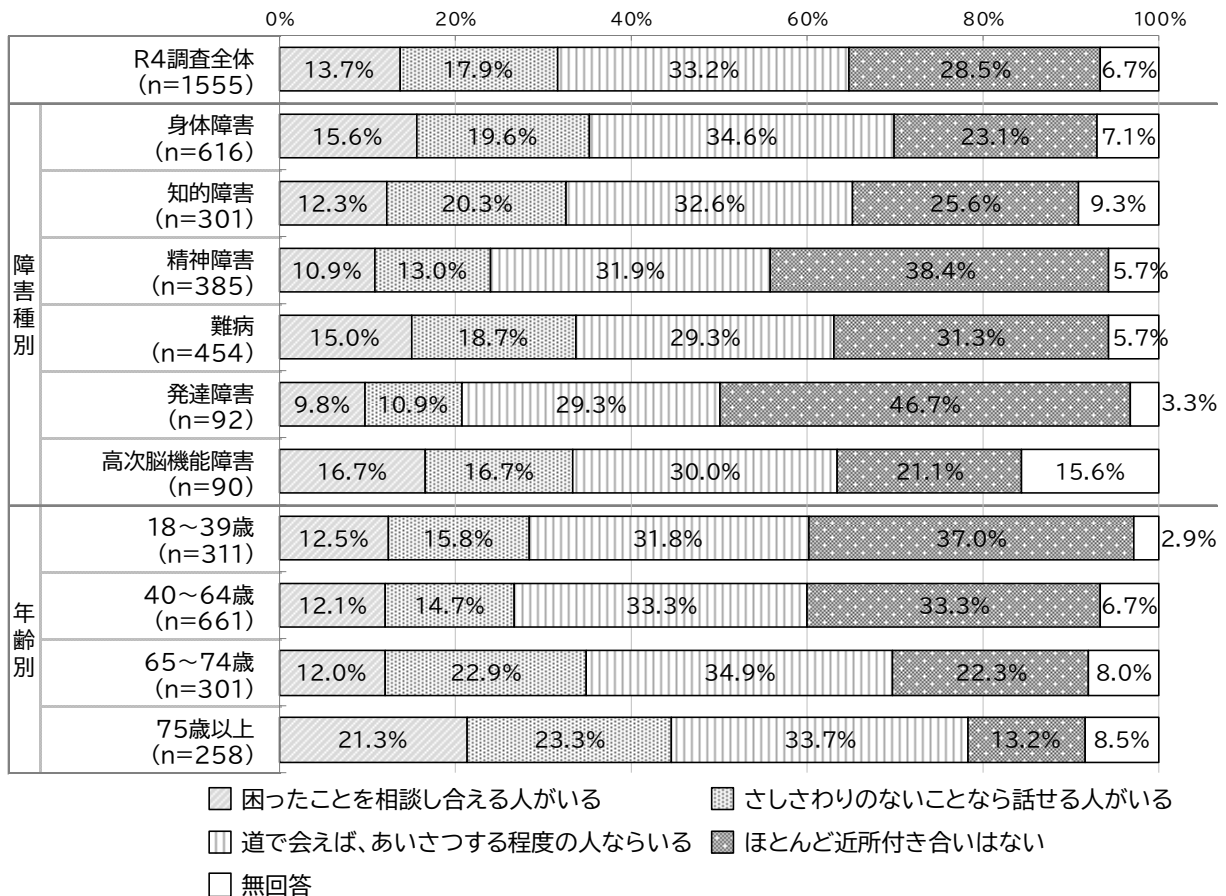
問. ご家庭とご近所とのお付き合いは、どの程度ですか。あてはまるもの1つに〇をつけてください。

### <障害者調査 問48>

近所付き合いの程度について、令和4年調査全体では「道で会えば、あいさつする程度の人ならいる」が33.2%と最も高く、次いで「ほとんど近所付き合いはない」が28.5%、「さしさわりのないことなら話せる人がいる」が17.9%となっています。

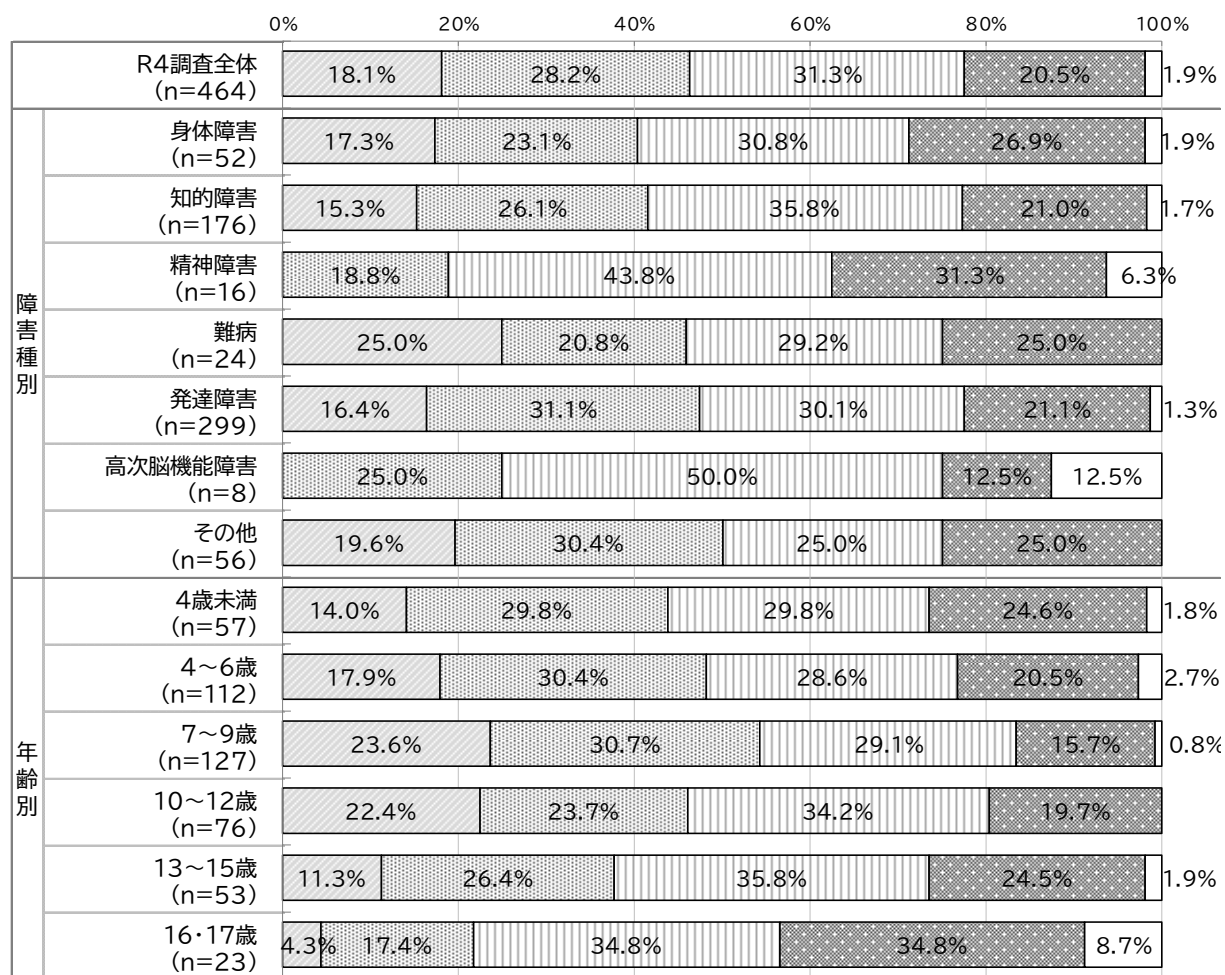
障害種別ごとにみると、発達障害で「ほとんど近所付き合いはない」が46.7%と他の障害種別と比較して高くなっています。

年齢ごとにみると、75歳以上で「困ったことを相談し合える人がいる」が21.3%と他の年齢と比較して高くなっています。



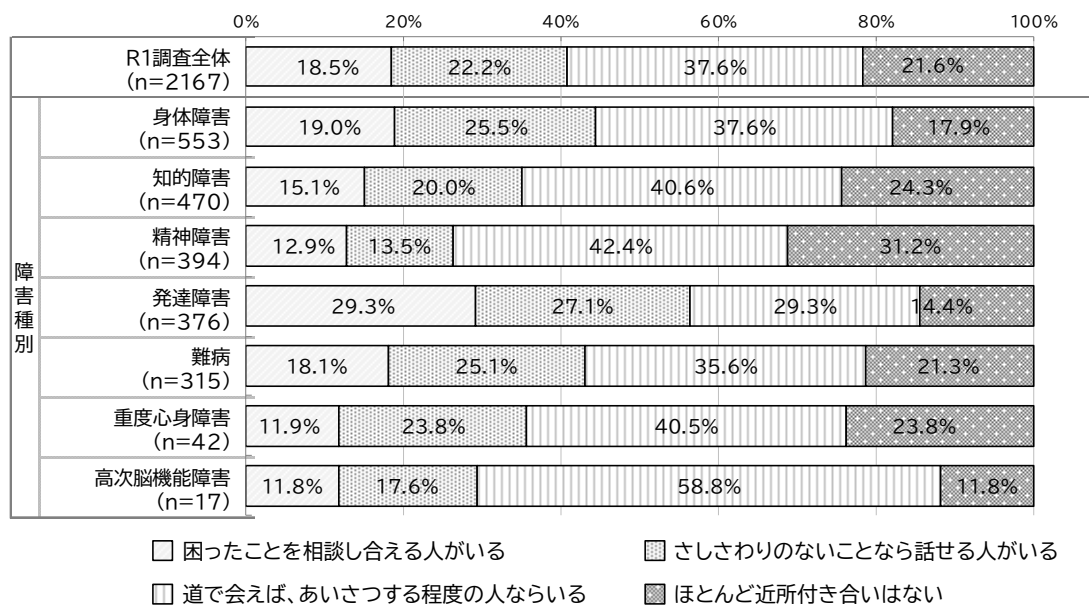
### <障害児調査 問43>

近所付き合いの程度について、令和4年調査全体では「道で会えば、あいさつする程度の人ならいる」が31.3%と最も高く、次いで「さしさわりのないことなら話せる人がいる」が28.2%、「ほとんど近所付き合いはない」が20.5%となっています。



- 困ったことを相談し合える人がいる
- さしさわりのないことなら話せる人がいる
- 道で会えば、あいさつする程度の人ならいる
- ほとんど近所付き合いはない
- 無回答

<参考 R1調査 障害者調査・障害児調査>



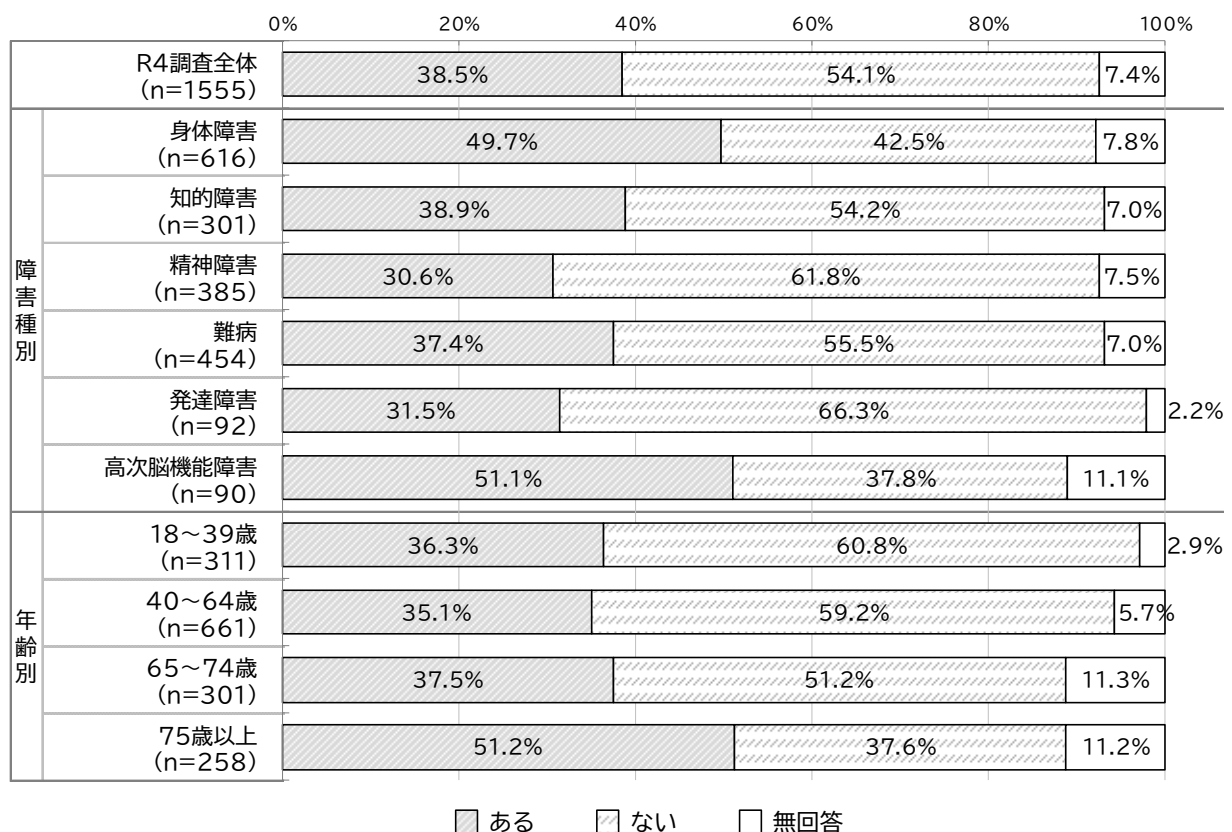
問. あなた(ご本人)は、今まで外出先で困ったとき、知らない方から手助けや配慮をしてもらった経験がありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

### <障害者調査 問49>

外出先で手助けや配慮をしてもらった経験があるかについて、令和4年調査全体では「ない」が54.1%、「ある」が38.5%となっています。

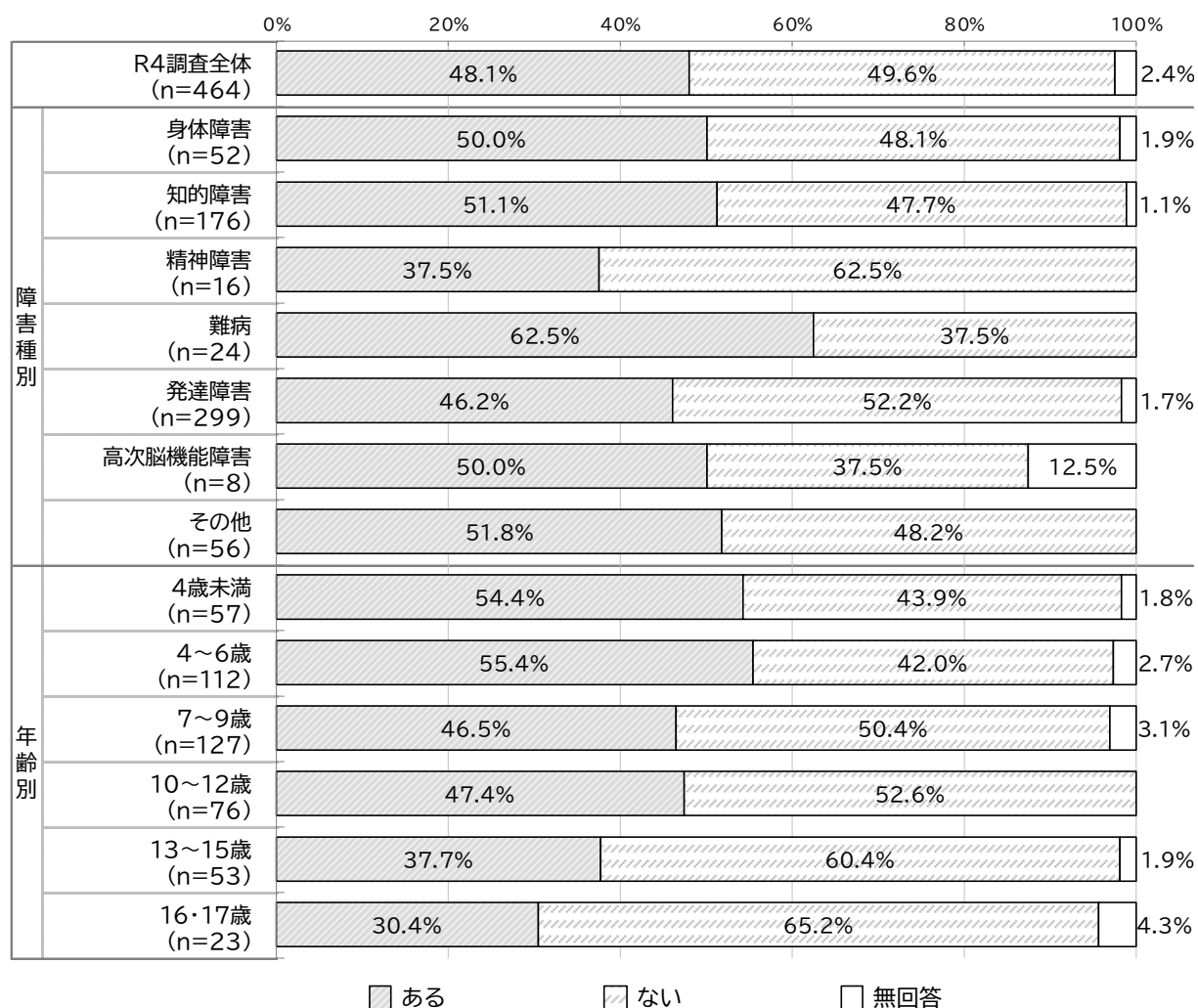
障害種別ごとにみると、「ある」は高次脳機能障害で51.1%、身体障害で49.7%と他の障害種別と比較して高くなっています。

年齢ごとにみると、「ある」は75歳以上で51.2%と他の年齢と比較して高くなっています。

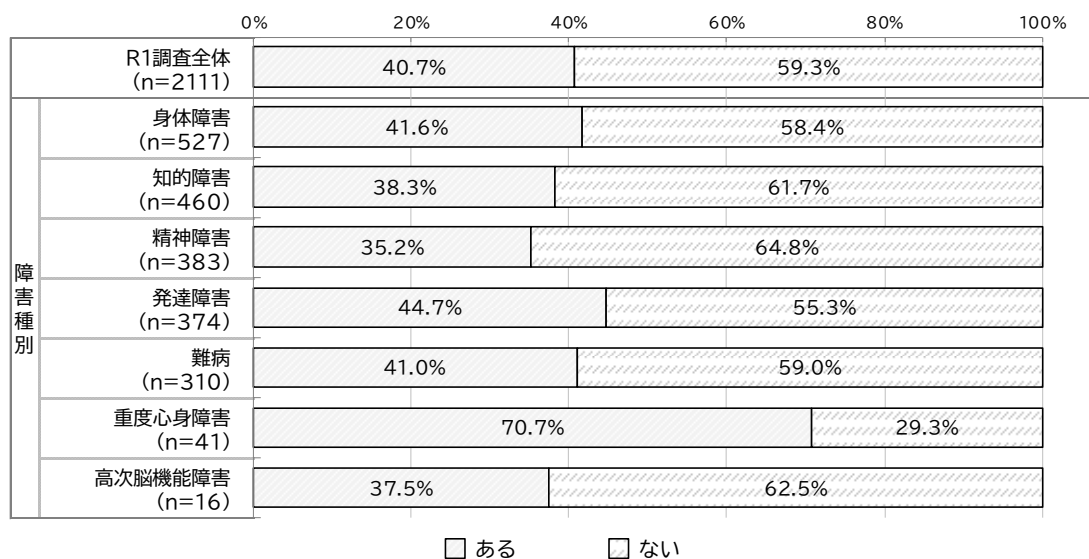


## <障害児調査 問44>

外出先で手助けや配慮をもらった経験があるかについて、令和4年調査全体では「ない」が49.6%、「ある」が48.1%となっています。



<参考 R1調査 障害者調査・障害児調査>



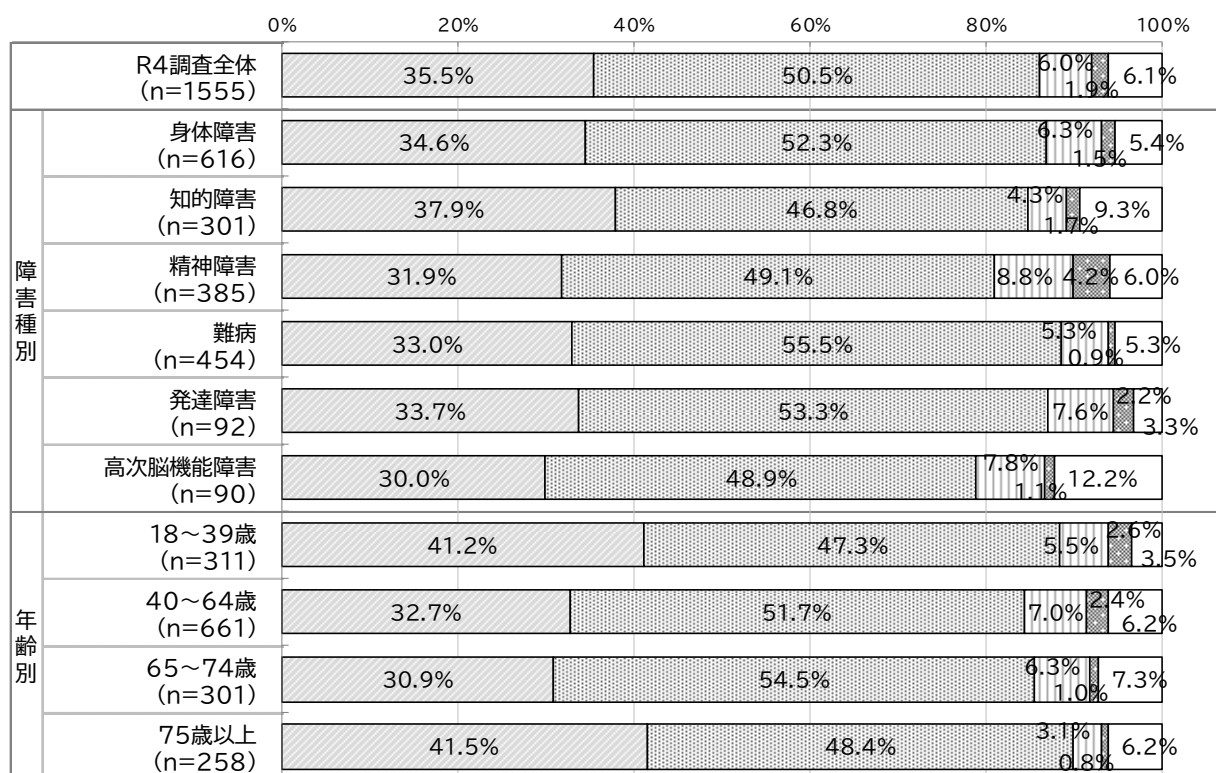
問. あなた(ご本人)にとって、江東区での暮らしはいかがですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

### <障害者調査 問50>

江東区での暮らしについて、令和4年調査全体では「どちらかといえば暮らしやすい」が50.5%と最も高く、次いで「暮らしやすい」が35.5%となっています。

障害種別ごとにみると、知的障害で「暮らしやすい」が37.9%と他の障害種別と比較してやや高めなっています。

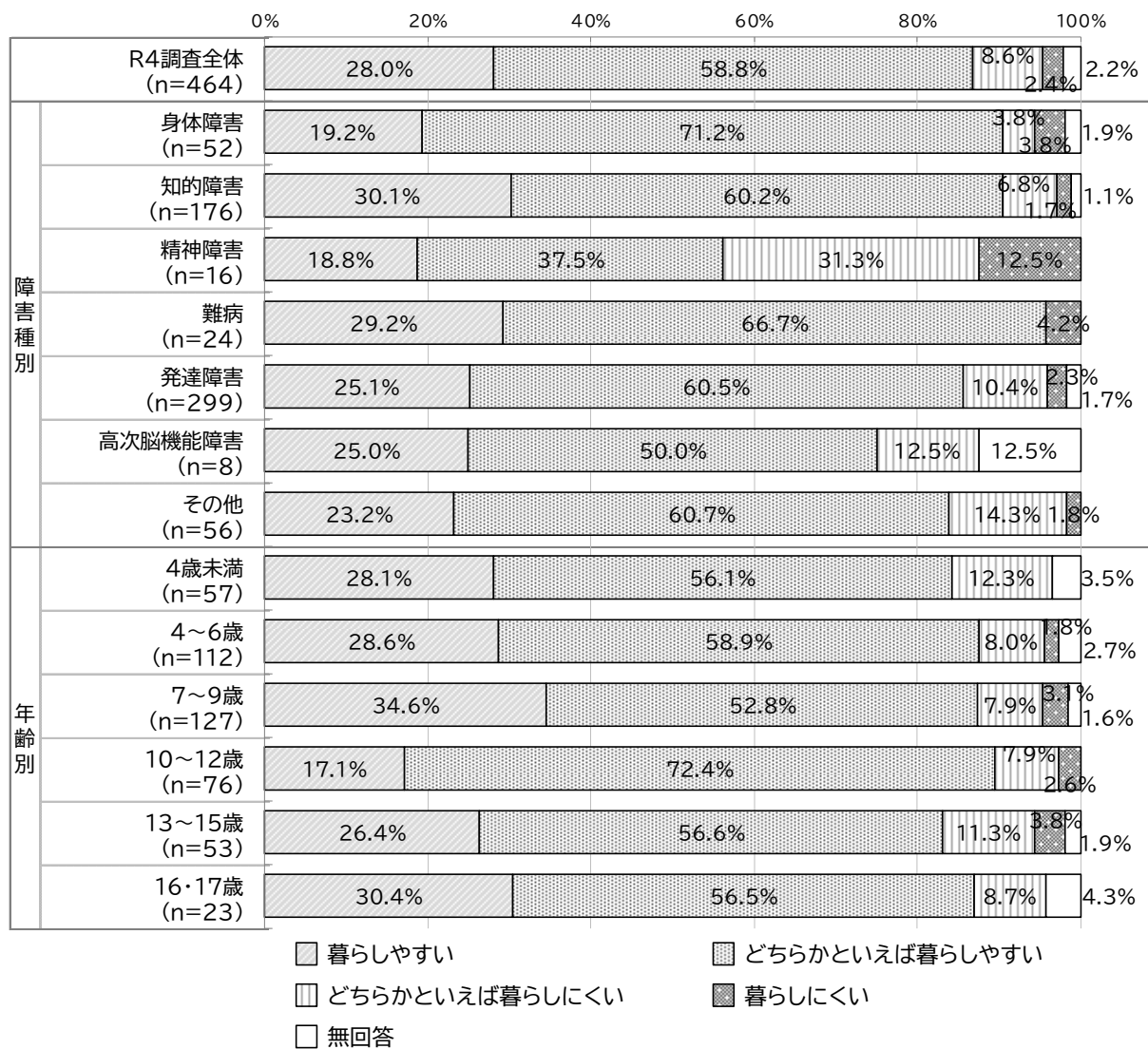
年齢ごとにみると、「暮らしやすい」が75歳以上で41.5%、18～39歳で41.2%と40～64歳、65～74歳と比較して高くなっています。



- 暮らしやすい
- どちらかといえば暮らしやすい
- どちらかといえば暮らしにくい
- 暮らしにくい
- 無回答

## <障害児調査 問45>

江東区での暮らしについて、令和4年調査全体では「どちらかといえば暮らしやすい」が58.8%と最も高く、次いで「暮らしやすい」が28.0%となっています。





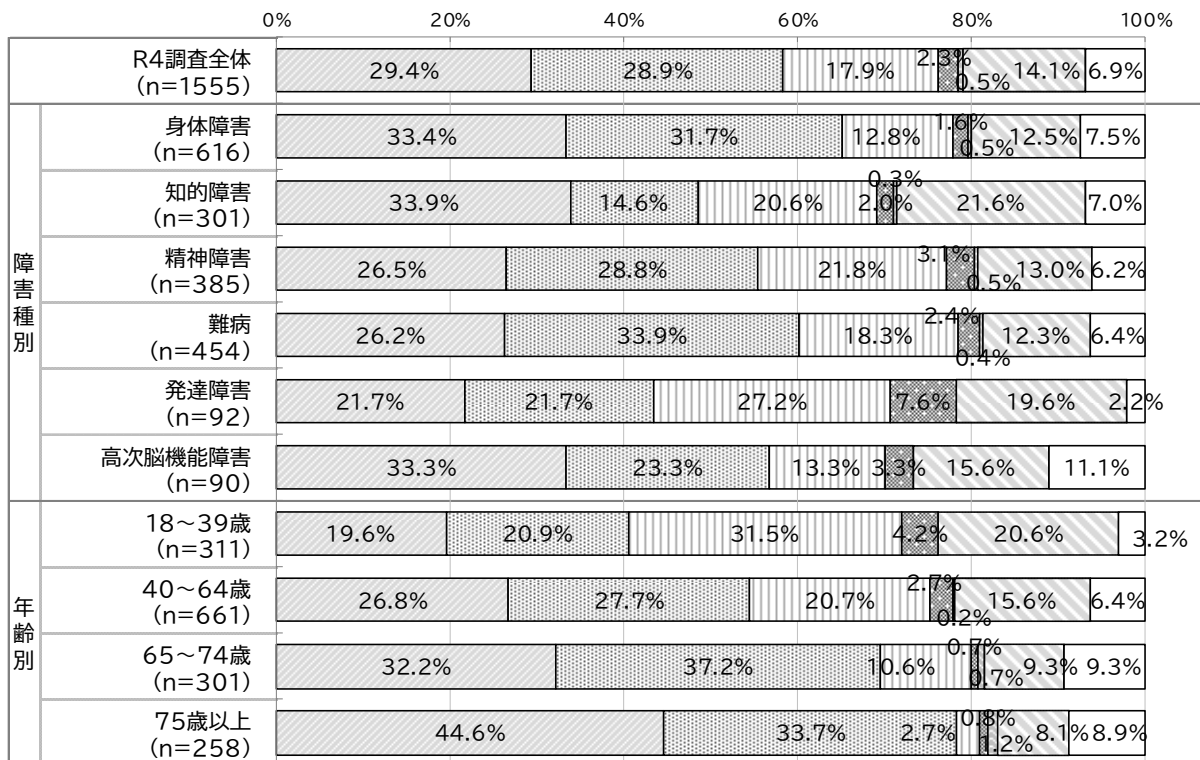
問. あなた(ご本人)は、江東区に住み続けたいと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

<障害者調査 問51>

江東区に住み続けたいと思うかについて、令和4年調査全体では「何があっても、一生住み続けたい」が29.4%と最も高く、次いで「区内に住みたいが、健康状態による」が28.9%、「仕事や受けたいサービスなどがあれば、住み続けたい」が17.9%となっています。

障害種別ごとにみると、発達障害で「仕事や受けたいサービスなどがあれば、住み続けたい」が27.2%と他の障害種別と比較して高くなっています。

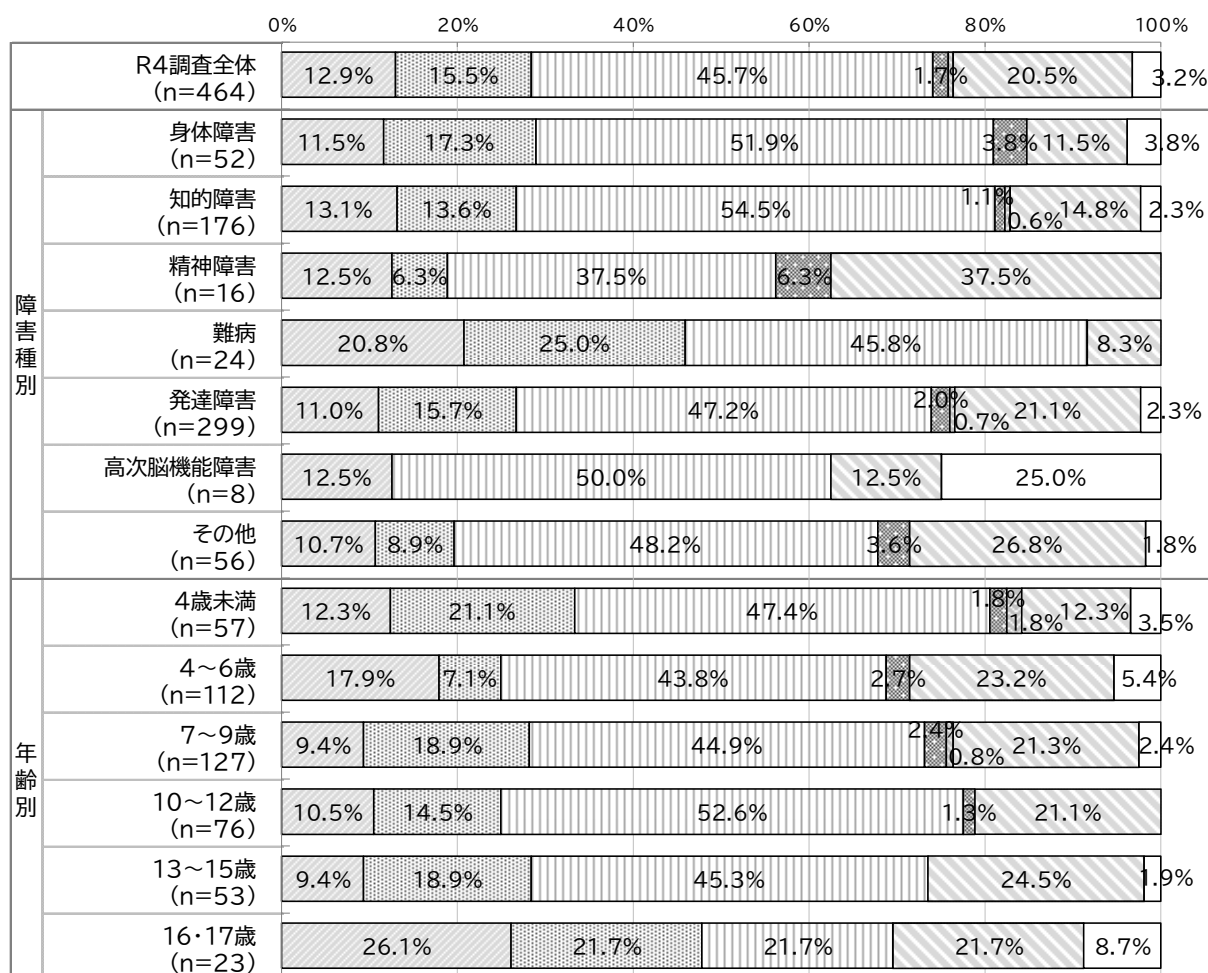
年齢ごとにみると、「何があっても、一生住み続けたい」は高齢になるほど高くなっており、75歳以上で44.6%となっています。一方、「仕事や受けたいサービスなどがあれば、住み続けたい」は若い年齢ほど高くなっており、18～39歳で31.5%となっています。



- 何があっても、一生住み続けたい
- 区内に住みたいが、健康状態による
- 仕事や受けたいサービスなどがあれば、住み続けたい
- なるべく区外に住みたい
- 生活が不便で区内では暮らすことができない
- 家族の意向による、決められない
- 無回答

## <障害児調査 問46>

江東区に住み続けたいと思うかについて、令和4年調査全体では「仕事や受けたいサービスなどがあれば、住み続けたい」が45.7%と最も高く、次いで「家族の意向による、決められない」が20.5%、「区内に住みたいが、健康状態による」が15.5%となっています。

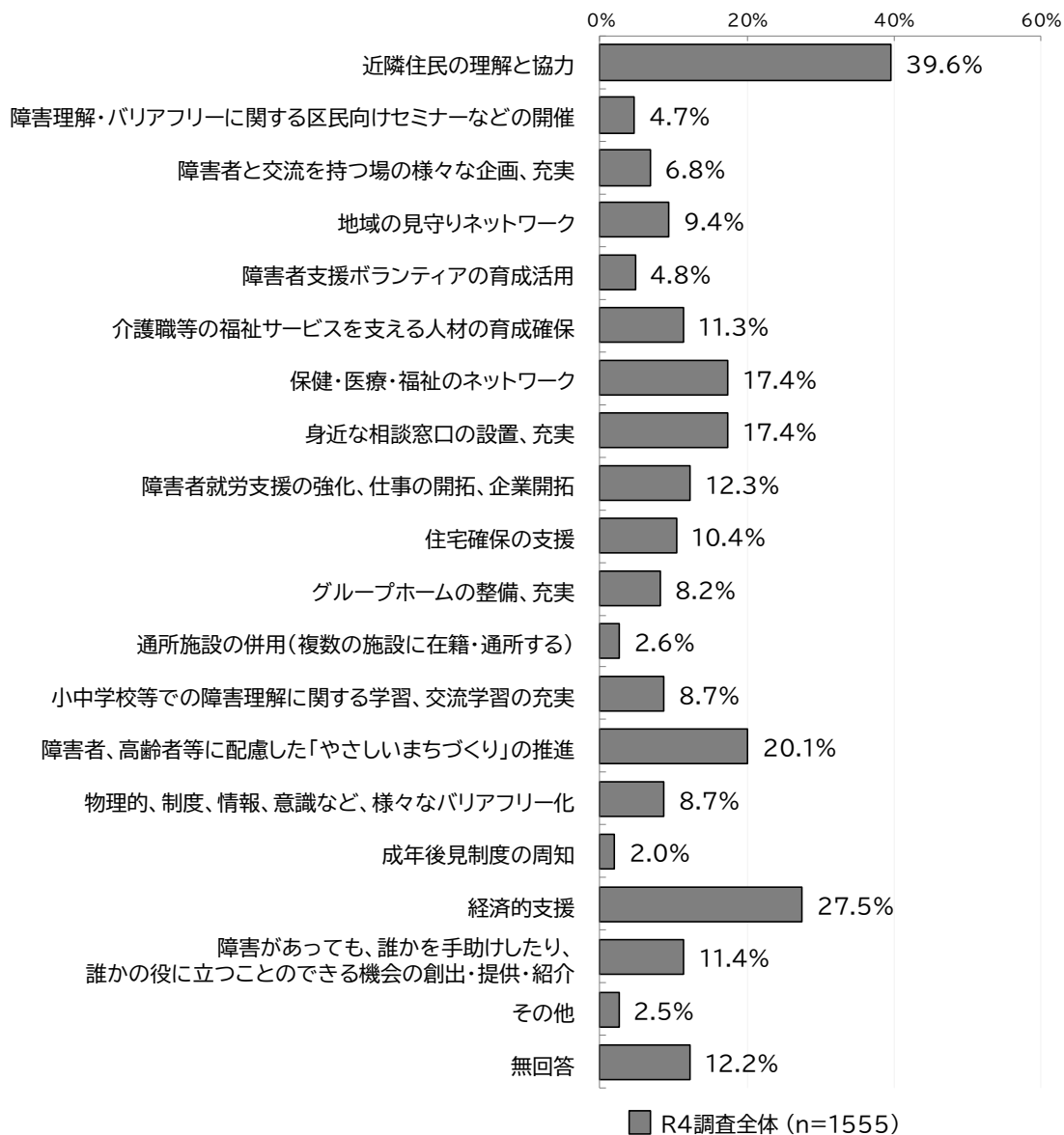


- 何があっても、一生住み続けたい
- 区内に住みたいが、健康状態による
- 仕事や受けたいサービスなどがあれば、住み続けたい
- なるべく区外に住みたい
- 生活が不便で区内では暮らすことができない
- 家族の意向による、決められない
- 無回答

問. 障害のある人もない人も、共に生活できる地域社会の実現のためにはどのようなことが大切だと考えますか。あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

### <障害者調査 問52>

共に生活できる地域社会の実現のために大切だと考えることについて、令和4年調査全体では「近隣住民の理解と協力」が39.6%と最も高く、次いで「経済的支援」が27.5%、「障害者、高齢者等に配慮した「やさしいまちづくり」の推進」が20.1%となっています。



障害種別ごとにとみると、知的障害で「グループホームの整備、充実」が29.2%と他の障害種別と比較して高くなっています。また、発達障害で「障害者就労支援の強化、仕事の開拓、企業開拓」が27.2%と他の障害種別と比較して高くなっています。

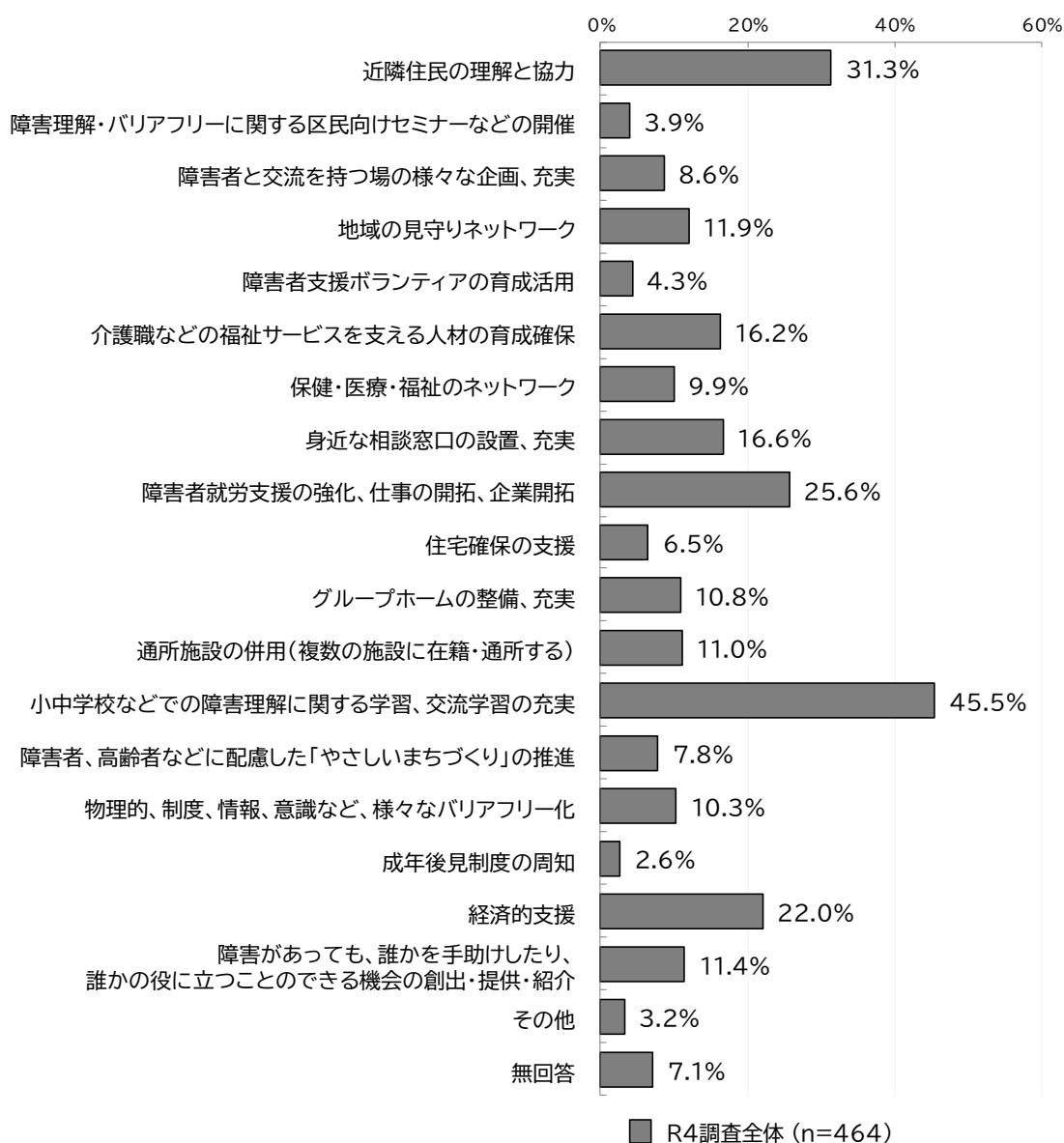
年齢ごとにとみると、75歳以上で「近隣住民の理解と協力」が50.8%と他の年齢と比較して高くなっています。また、18～39歳で「グループホームの整備、充実」が19.3%と他の年齢と比較して高くなっています。

1段目 人 2段目 %	合計	問52.共に生活できる地域社会の実現のために大切だと考えること									
		近隣住民の理解と協力	障害者就労支援の強化、仕事の開拓、企業開拓	グループホームの整備、充実	障害者就労支援の強化、仕事の開拓、企業開拓	近隣住民の理解と協力	障害者就労支援の強化、仕事の開拓、企業開拓	グループホームの整備、充実	障害者就労支援の強化、仕事の開拓、企業開拓	近隣住民の理解と協力	障害者就労支援の強化、仕事の開拓、企業開拓
身体障害	616 100.0%	271 44.0	30 4.9	43 7.0	68 11.0	22 3.6	86 14.0	106 17.2	97 15.7	55 8.9	65 10.6
知的障害	301 100.0%	126 41.9	12 4.0	25 8.3	30 10.0	30 10.0	54 17.9	33 11.0	34 11.3	34 11.3	19 6.3
精神障害	385 100.0%	126 32.7	20 5.2	23 6.0	27 7.0	18 4.7	25 6.5	74 19.2	80 20.8	76 19.7	53 13.8
難病	454 100.0%	158 34.8	18 4.0	27 5.9	46 10.1	13 2.9	56 12.3	101 22.2	82 18.1	44 9.7	53 11.7
発達障害	92 100.0%	30 32.6	8 8.7	11 12.0	5 5.4	5 5.4	8 8.7	10 10.9	18 19.6	25 27.2	9 9.8
高次脳機能障害	90 100.0%	38 42.2	8 8.9	6 6.7	7 7.8	3 3.3	12 13.3	15 16.7	16 17.8	9 10.0	8 8.9
18～39歳	311 100.0%	114 36.7	18 5.8	25 8.0	22 7.1	14 4.5	44 14.1	51 16.4	55 17.7	71 22.8	27 8.7
40～64歳	661 100.0%	245 37.1	32 4.8	41 6.2	55 8.3	45 6.8	64 9.7	120 18.2	115 17.4	91 13.8	77 11.6
65～74歳	301 100.0%	119 39.5	16 5.3	20 6.6	33 11.0	8 2.7	34 11.3	52 17.3	48 15.9	22 7.3	35 11.6
75歳以上	258 100.0%	131 50.8	7 2.7	20 7.8	32 12.4	8 3.1	32 12.4	45 17.4	46 17.8	6 2.3	18 7.0

1段目 人 2段目 %	問52.共に生活できる地域社会の実現のために大切だと考えること											
	グループホームの整備、充実	障害者就労支援の強化、仕事の開拓、企業開拓	近隣住民の理解と協力	障害者就労支援の強化、仕事の開拓、企業開拓	グループホームの整備、充実	障害者就労支援の強化、仕事の開拓、企業開拓	近隣住民の理解と協力	障害者就労支援の強化、仕事の開拓、企業開拓	グループホームの整備、充実	障害者就労支援の強化、仕事の開拓、企業開拓	その他	無回答
身体障害	26 4.2	18 2.9	41 6.7	162 26.3	59 9.6	4 0.6	130 21.1	76 12.3	13 2.1	86 14.0		
知的障害	88 29.2	20 6.6	25 8.3	52 17.3	8 2.7	12 4.0	57 18.9	25 8.3	9 3.0	34 11.3		
精神障害	19 4.9	12 3.1	36 9.4	59 15.3	33 8.6	11 2.9	156 40.5	42 10.9	11 2.9	41 10.6		
難病	21 4.6	11 2.4	49 10.8	91 20.0	56 12.3	8 1.8	133 29.3	54 11.9	6 1.3	54 11.9		
発達障害	14 15.2	2 2.2	13 14.1	9 9.8	5 5.4	6 6.5	35 38.0	10 10.9	4 4.3	6 6.5		
高次脳機能障害	7 7.8	2 2.2	4 4.4	12 13.3	6 6.7	0 0.0	23 25.6	10 11.1	3 3.3	19 21.1		
18～39歳	60 19.3	14 4.5	38 12.2	29 9.3	32 10.3	8 2.6	99 31.8	36 11.6	11 3.5	21 6.8		
40～64歳	46 7.0	13 2.0	64 9.7	134 20.3	70 10.6	11 1.7	211 31.9	72 10.9	18 2.7	67 10.1		
65～74歳	13 4.3	6 2.0	21 7.0	78 25.9	22 7.3	11 3.7	71 23.6	40 13.3	6 2.0	43 14.3		
75歳以上	8 3.1	6 2.3	12 4.7	70 27.1	11 4.3	1 0.4	41 15.9	28 10.9	4 1.6	51 19.8		

## <障害児調査 問47>

共に生活できる地域社会の実現のために大切だと考えることについて、令和4年調査全体では「小中学校などでの障害理解に関する学習、交流学习の充実」が45.5%と最も高く、次いで「近隣住民の理解と協力」が31.3%、「障害者就労支援の強化、仕事の開拓、企業開拓」が25.6%となっています。



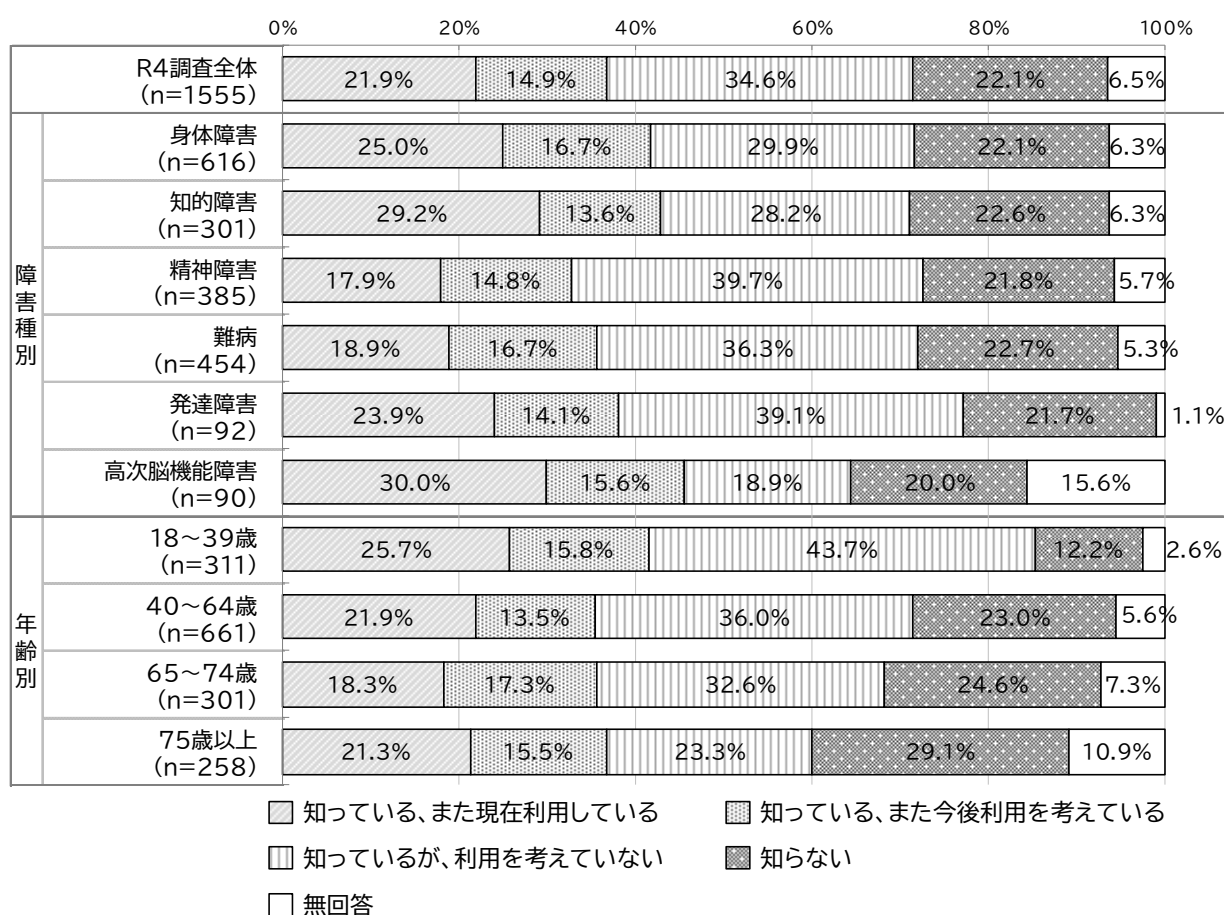
問. あなた(ご本人)は、ヘルプマークを知っていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

### <障害者調査 問53>

ヘルプマークについて、令和4年調査全体では「知っているが、利用を考えていない」が34.6%と最も高く、次いで「知らない」が22.1%、「知っている、また現在利用している」が21.9%となっています。

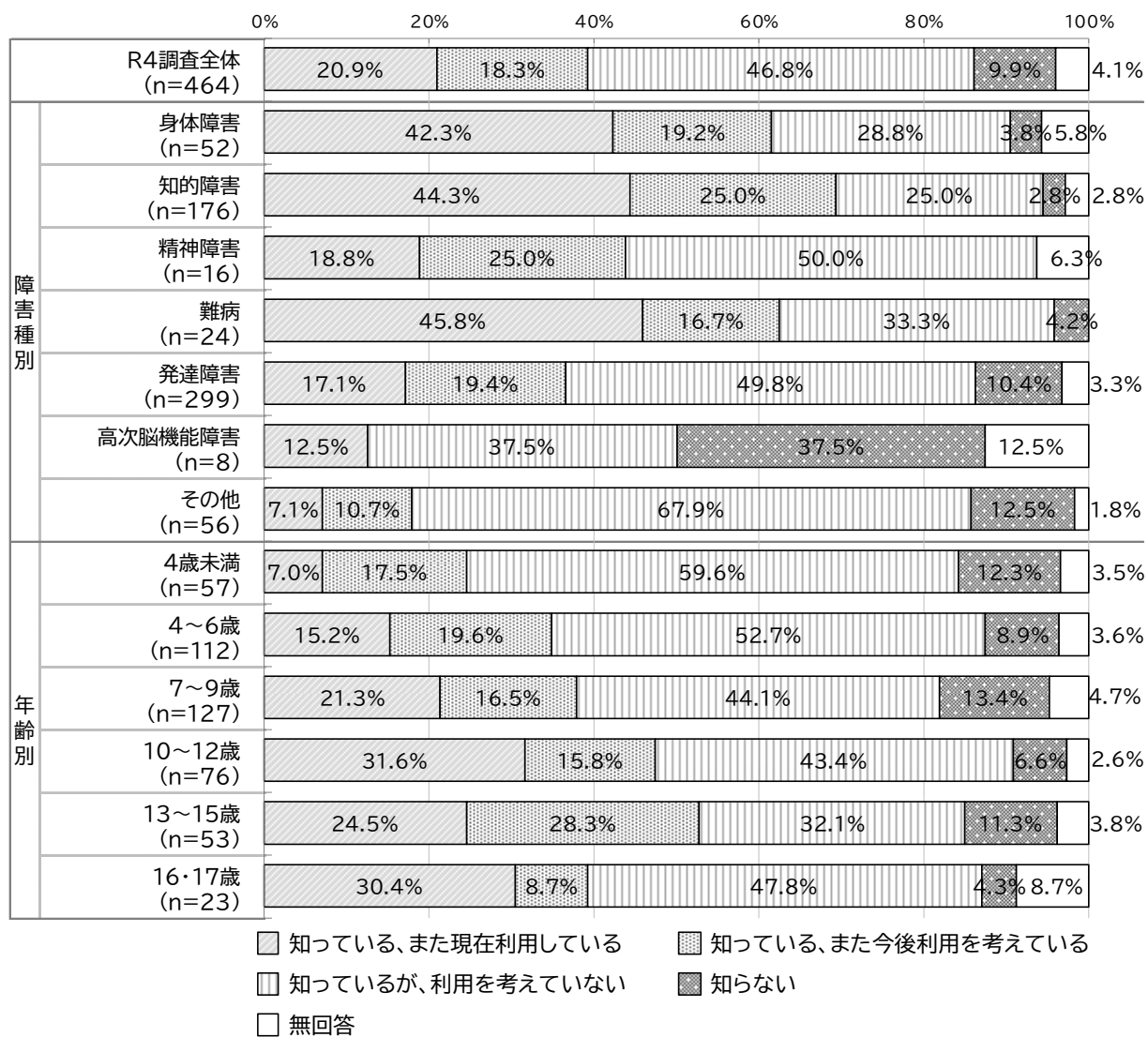
障害種別ごとにみると、「知っている、また現在利用している」が高次脳機能障害で30.0%、知的障害で29.2%と他の障害種別と比較して高めになっています。

年齢ごとにみると、18～39歳で「知っているが、利用を考えていない」が43.7%と他の年齢と比較して高くなっています。認知率は若い年齢ほど高く、75歳以上で「知らない」が29.1%と他の年齢と比較して高めになっています。

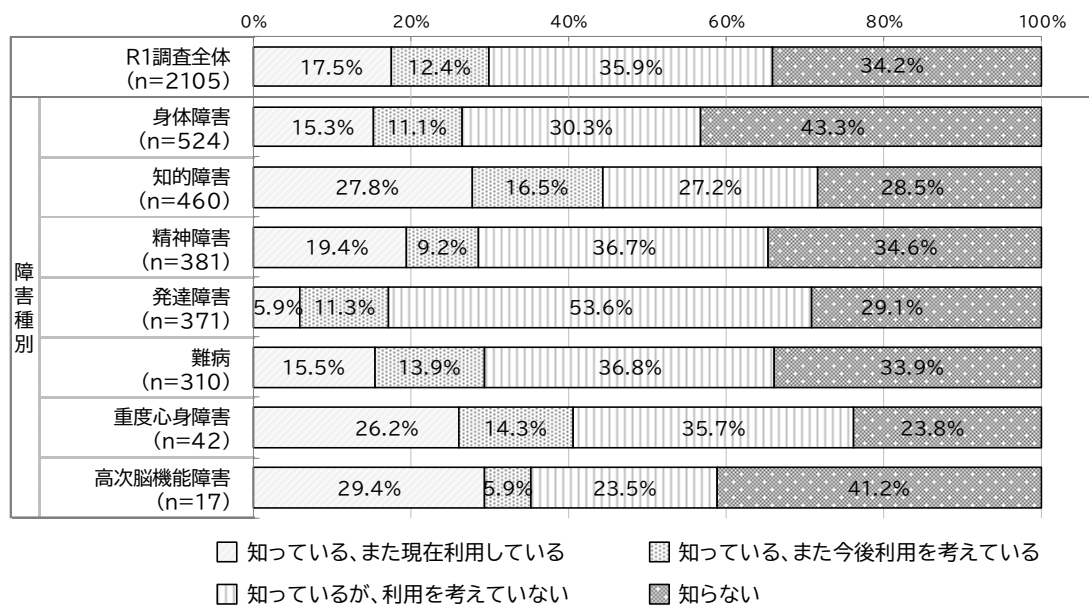


### <障害児調査 問48>

ヘルプマークを知っているかについて、令和4年調査全体では「知っているが、利用を考えていない」が46.8%と最も高く、次いで「知っている、また現在利用している」が20.9%、「知っている、また今後利用を考えている」が18.3%となっています。



<参考 R1調査 障害者調査・障害児調査>





問. あなた(ご本人)は、成年後見制度、日常生活自立支援事業について知っていますか。それぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。

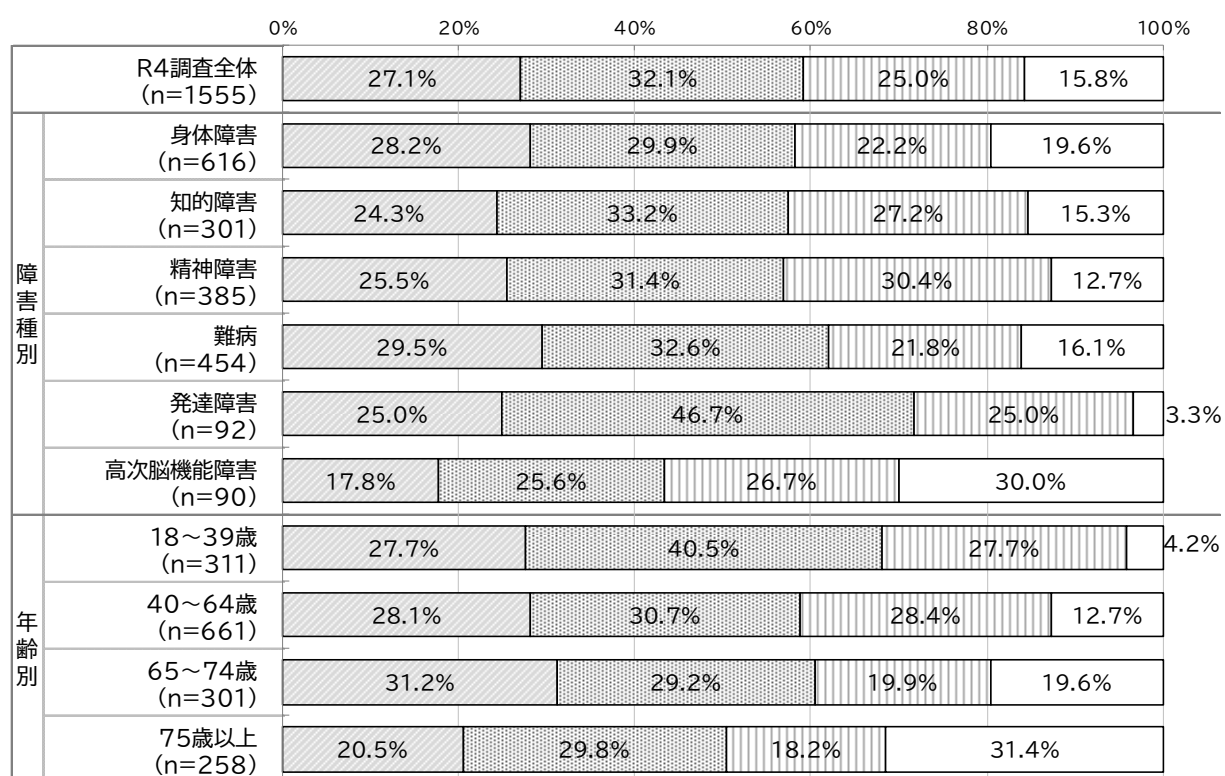
### <障害者調査 問54>

#### ア)成年後見制度

成年後見制度について、令和4年調査全体では「聞いたことはあるが、よくわからない」が32.1%、「知っている」が27.1%、「知らない、聞いたことがない」が25.0%となっています。

障害種別ごとにみると、発達障害で「聞いたことはあるが、よくわからない」が46.7%と他の障害種別と比較して高くなっています。

年齢ごとにみると、18～39歳で「聞いたことはあるが、よくわからない」が40.5%と他の年齢と比較して高くなっています。



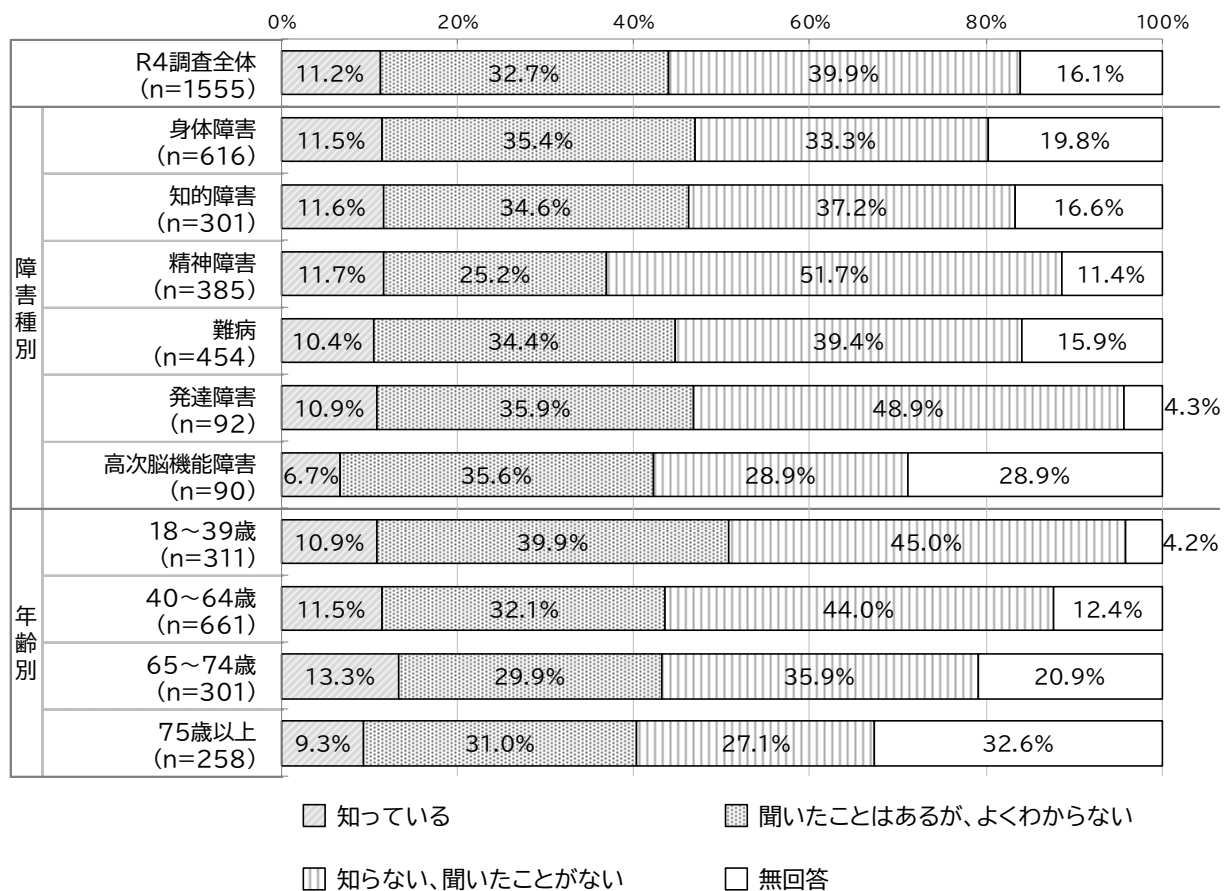
- 知っている
- 聞いたことはあるが、よくわからない
- 知らない、聞いたことがない
- 無回答

## イ)日常生活自立支援事業

日常生活自立支援事業について、令和4年調査全体では「知らない、聞いたことがない」が39.9%、「聞いたことはあるが、よくわからない」が32.7%、「知っている」が11.2%となっています。

障害種別ごとにみると、「知らない、聞いたことがない」で精神障害が51.7%、発達障害が48.9%と他の障害種別と比較して高くなっています。

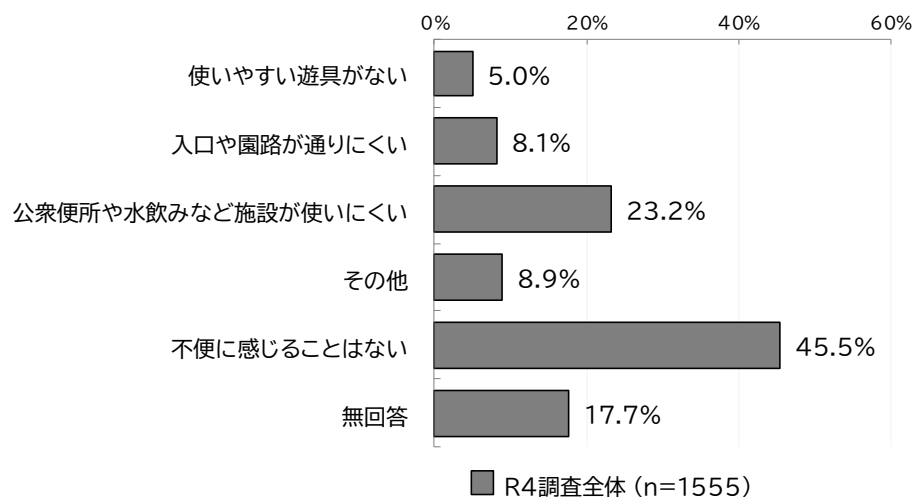
年齢ごとにみると、18～39歳で「聞いたことはあるが、よくわからない」が39.9%と他の年齢と比較して高くなっています。また、「知らない、聞いたことがない」は年齢が若いほど高く、18～39歳が45.0%で、75歳以上は27.1%となっています。



問. あなた(ご本人)が公園で不便に感じていることは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

### <障害者調査 問55>

公園で不便に感じていることについて、令和4年調査全体では「不便に感じることはない」が45.5%と最も高く、次いで「公衆便所や水飲みなど施設が使いにくい」が23.2%となっています。



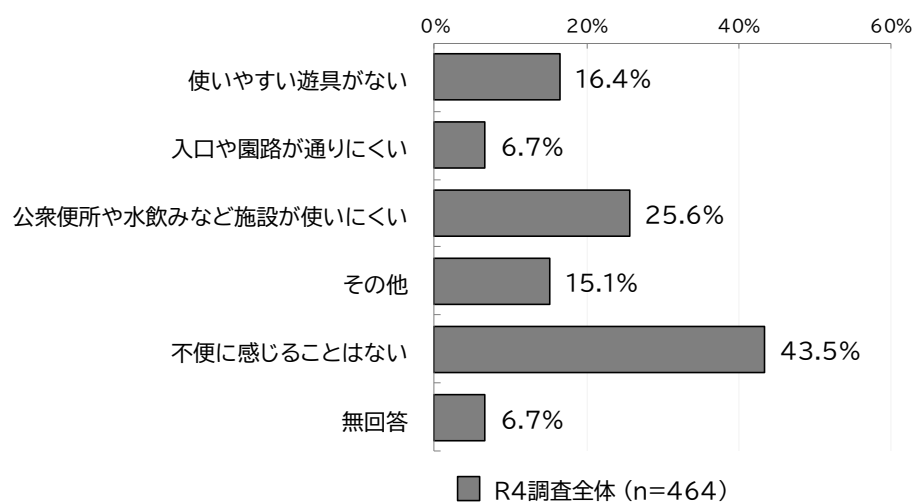
障害種別ごとにとみると、発達障害で「不便に感じることはない」が54.3%と他の障害種別と比較して高めになっています。

年齢ごとにとみると、「不便に感じることはない」は年齢が若いほど高く、18～39歳が53.1%で、75歳以上は34.9%となっています。

1段目 人 2段目 %	合 計	問55.公園で不便に感じていること						
		使 い や す い 遊 具 が な い	い 入 口 や 園 路 が 通 り に く	施 公 衆 が 便 所 や 水 飲 み な ど	そ の 他	い 不 便 に 感 じ る こ と は な	無 回 答	
障 害 種 別	身体障害	616 100.0%	25 4.1	67 10.9	142 23.1	66 10.7	238 38.6	127 20.6
	知的障害	301 100.0%	23 7.6	22 7.3	63 20.9	22 7.3	146 48.5	55 18.3
	精神障害	385 100.0%	22 5.7	24 6.2	93 24.2	39 10.1	191 49.6	56 14.5
	難病	454 100.0%	19 4.2	41 9.0	110 24.2	40 8.8	201 44.3	77 17.0
	発達障害	92 100.0%	6 6.5	4 4.3	23 25.0	12 13.0	50 54.3	7 7.6
	高次脳機能障害	90 100.0%	2 2.2	11 12.2	19 21.1	9 10.0	34 37.8	21 23.3
年 齢 別	18～39歳	311 100.0%	20 6.4	20 6.4	81 26.0	25 8.0	165 53.1	27 8.7
	40～64歳	661 100.0%	33 5.0	56 8.5	149 22.5	57 8.6	330 49.9	95 14.4
	65～74歳	301 100.0%	13 4.3	28 9.3	74 24.6	32 10.6	110 36.5	68 22.6
	75歳以上	258 100.0%	10 3.9	21 8.1	56 21.7	22 8.5	90 34.9	77 29.8

### <障害児調査 問49>

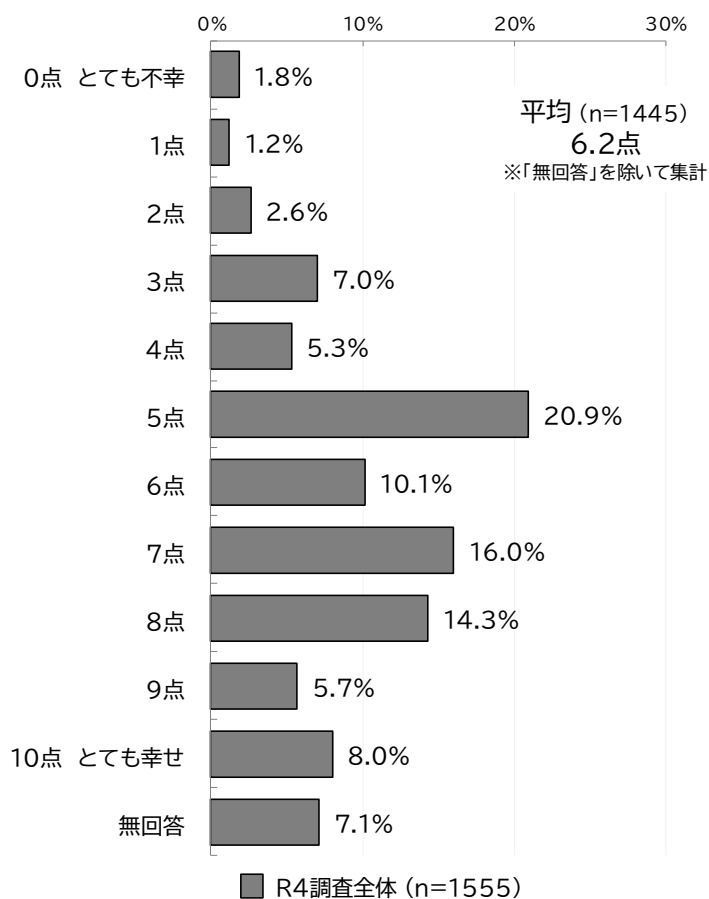
公園で不便に感じていることについて、令和4年調査全体では「不便に感じることはない」が43.5%と最も高く、次いで「公衆便所や水飲みなど施設が使いにくい」が25.6%、「使いやすい遊具がない」が16.4%となっています。



問. あなた(ご本人)は、現在どの程度幸せですか。「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、0点から10点までのいずれか1つに〇をつけてください。

### <障害者調査 問56>

幸福度について、令和4年調査全体では「5点」が20.9%と最も高く、次いで「7点」が16.0%、「8点」が14.3%となっています。「0点」から「10点」のいずれかを回答した方の平均は6.2点となっています。



障害種別ごとにみると、精神障害で「0点」～「4点」と回答した方が多く、平均は5点と障害種別のなかで最も低い幸福度となっています。

年齢ごとにみると、75歳以上で「0点」～「4点」と回答した方が少なく、平均は6.7点と年齢のなかで最も高い幸福度となっています。

1段目 人 2段目 %	合計	問56.幸福度													合計 ※無回答を除く	平均(点)
		0点 とても不幸	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点 とても幸せ	無回答			
障害種別	身体障害	616 100.0%	12 1.9	4 0.6	9 1.5	29 4.7	29 4.7	127 20.6	59 9.6	108 17.5	102 16.6	39 6.3	52 8.4	46 7.5	570	6.4
	知的障害	301 100.0%	2 0.7	1 0.3	8 2.7	15 5.0	7 2.3	79 26.2	25 8.3	38 12.6	45 15.0	17 5.6	34 11.3	30 10.0	271	6.5
	精神障害	385 100.0%	16 4.2	14 3.6	26 6.8	48 12.5	31 8.1	80 20.8	47 12.2	38 9.9	31 8.1	10 2.6	17 4.4	27 7.0	358	5.0
	難病	454 100.0%	9 2.0	0 0.0	10 2.2	31 6.8	20 4.4	79 17.4	47 10.4	94 20.7	72 15.9	35 7.7	29 6.4	28 6.2	426	6.4
	発達障害	92 100.0%	2 2.2	0 0.0	5 5.4	9 9.8	5 5.4	19 20.7	13 14.1	8 8.7	13 14.1	3 3.3	9 9.8	6 6.5	86	5.9
	高次脳機能障害	90 100.0%	4 4.4	0 0.0	1 1.1	7 7.8	4 4.4	12 13.3	6 6.7	14 15.6	14 15.6	6 6.7	9 10.0	13 14.4	77	6.4
	年齢別	18～39歳	311 100.0%	5 1.6	3 1.0	6 1.9	21 6.8	15 4.8	57 18.3	32 10.3	52 16.7	44 14.1	24 7.7	37 11.9	15 4.8	296
40～64歳		661 100.0%	16 2.4	12 1.8	28 4.2	58 8.8	35 5.3	139 21.0	66 10.0	90 13.6	95 14.4	37 5.6	39 5.9	46 7.0	615	5.8
65～74歳		301 100.0%	3 1.0	2 0.7	5 1.7	20 6.6	22 7.3	65 21.6	30 10.0	66 21.9	31 10.3	12 4.0	21 7.0	24 8.0	277	6.1
75歳以上		258 100.0%	2 0.8	1 0.4	2 0.8	8 3.1	10 3.9	58 22.5	27 10.5	39 15.1	51 19.8	15 5.8	26 10.1	19 7.4	239	6.7

### <障害児調査 問50>

幸福度について、令和4年調査全体では「8点」が22.4%と最も高く、次いで「7点」が17.7%、「5点」が15.1%となっています。「0点」から「10点」のいずれかを回答した方の平均は6.7点となっています。

